

一般講演

口頭発表プログラム

- 口頭発表は質疑応答と交代の時間を含めて 15 分です。時間に沿った進行のため、12 分の発表と 2 分 30 秒の質疑応答をお願いします。
- 発表者ツールは画面共有失敗の原因になりやすいので極力使用をお控えください。どうしても使用したい場合はセッション前の試写で必ずご確認ください。

オンライン発表の方

- 本年会では接続確認は行いません。
- 発表の順番になりましたら、Zoom の「画面共有」で発表用ファイルを選択し、ミュートを解除して発表を行ってください。ビデオは ON をお願いします。

座長の方

- 座長を担当する方々で、あらかじめ連絡をとって分担する演題を決めておいてください。
- 座長一覧は、口頭発表プログラムの後にあります。

● 第1日 3月13日(金) 午前(9:30-12:30)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	一次代謝	特化(二次)代謝	ゲノム機能・遺伝子発現制御
09:30	<p>1aA-01 緑藻の光合成アンテナに結合したシフォネインによる効率的な光保護三重項消光機構 藤井律子^{1,2}, アゴスティーニアレッサンドロ³, 関庄一郎⁴, カルチノーニアンドレア³, ポールロバ³, ミリオーレアゴスティーノ³, カルボネラドナテッラ³ (阪大・人工光合成研究セ, 阪大・理学研究科, 3パドバ大・イタリア, 4阪大・蛋白質)</p>	<p>1aB-01 光強度や明暗周期が高シユウ酸植物の葉のシユウ酸合成経路に及ぼす影響 宮城敦子¹, 佐久間若菜², 村山秀樹¹ (山形大・農, 2山形大・院農)</p>	<p>1aC-01 <i>Raphanus</i> 属植物が産生するフェニルアシル化フラボノイドの探索 金陽嘉, 安川小百合, Yuting Liu, 小牧伸一郎, 渡邊むつみ, 峠隆之 (奈良先端大・先端科学技術)</p>	<p>1aD-01 シロイヌナズナにおける汎用的な DNA メチル化編集技術の開発に向けた取り組み 平田峻也¹, 池田陽子², 小林括平³, 西村泰介⁴, 賀屋秀隆⁵ (1愛媛大・連合農学, 2岡山山大・資源植物科学研究所, 3愛媛大・院農, 4長岡技科大・院工)</p>
09:45	<p>1aA-02 シアノバクテリアの多様な光環境への適応に関わるフィコビリソームリンカー CpeC の解析 小川敬子¹, 河合繁², 広瀬侑², 日原由香子¹ (1埼玉大・院理工, 2豊橋技科大・院工)</p>	<p>1aB-02 新規に単離された単細胞シアノバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. LKSZ1 は窒素固定を行う 奥村レオナルド^研, 馬場真里², 上坂一馬², 藤田祐一², 増田真二¹ (1科学大・生命理工, 2名古屋大・大学院生命農学研究科)</p>	<p>1aC-02 オルガネラの種類で異なるヘム代謝産物ビルベルジンの排出制御 柴田百音^{1,2}, 吉田佳司^{1,2}, 児玉豊^{1,2} (1宇都宮大・バイオセンター, 2宇都宮大院・地域創生)</p>	<p>1aD-02 ATAC-seq によるイネ茎頂メリステムのエピゲノム状態遷移の解析 森下友梨香¹, 高田峻輔², 吉田綾², 肥後あすか², 宮成悠介³, 原田哲仁⁴, 辻寛之^{2,5} (1名大院・生命農学, 2横浜市大・木原生研, 3金沢大・ナノ生命科学研, 4九大院・医学, 5名大・生物センター)</p>
10:00	<p>1aA-03 ㊦ A peripheral antenna required for non-photochemical quenching and Lhcx1 abundance in the diatom <i>Chaetoceros gracilis</i> Jian Xing¹, Minoru Kumazawa^{1,2}, Kentaro Ifuku¹ (1Grad. Sch. Agri., Kyoto Univ., 2Inst. Low Temp. Sci., Hokkaido Univ.)</p>	<p>1aB-03 <i>Drosera</i> 3 種の出芽に対する無機窒素栄養の影響 岡本樹世¹, 石川剛翔², 伊藤新一郎¹, 稲吉舞優², 佐藤元紀², 長谷川皓一², 吉岡有咲², 高谷信之², 小保達男², 愛知真木子² (1中部大・院・応用生物, 2中部大・応用生物)</p>	<p>1aC-03 植物におけるフラビンモノヌクレオチドの細胞内分布と恒常性の解析 市川晋太郎^{1,2}, 児玉豊^{1,2} (1宇都宮大・バイオセンター, 2宇都宮大院・地域創生)</p>	<p>1aD-03 イネ茎頂メリステムの転換時に起こるクロマチンアクセシビリティの変化 舟山枝里^{1,2}, 保坂碧³, 赤司裕子², 森下友梨香¹, 山口佳穂², 吉田綾², 木田晴菜², 吉田英樹², 伊藤純², 川勝泰二⁴, 辻寛之^{2,5} (1名大院・生命農学, 2横浜市大・木原生研, 3株式会社日本バイオデータ, 4理研・バイオリソース研究センター, 5名大・生物センター)</p>
10:15	<p>1aA-04 5 種類の I 型反応中心が持つ励起エネルギー地形 木村明洋¹, 鬼頭宏任², 伊藤繁¹ (1名大院理, 2近大理工)</p>	<p>1aB-04 窒素同化酵素 GS1:2 が制御するイネの相対成長可塑性と群落生態応答 高山あまね, 小島創一 (東北大学大学院農学研究科)</p>	<p>1aC-04 ㊦ Identification of a novel vacuolar transporter involving indole glucosinolates accumulation in <i>Arabidopsis</i> Kaichiro Endo¹, Anna Piasecka², Pawel Bednarek², Kenji Yamada¹ (1Malopolska Centre of Biotechnology, Jagiellonian University, Krakow, Poland, 2Institute of Bioorganic Chemistry, Polish Academy of Sciences, Poznan, Poland)</p>	<p>1aD-04 苔類ゼニゴケにおける生殖細胞系列決定遺伝子 <i>MpBONOBO</i> の発現レギュレーション 吉竹良洋¹, 田中健太¹, 岡本晴喜¹, 西浜竜一², 山岡高平¹, 河内孝之¹ (1京大・院・生命科学, 2東京理科大・創域理工・生命生物)</p>
10:30	<p>1aA-05 多様な I, II 型反応中心へのキノン/Chl 結合の理論解析: PSI はユニークである! 高木歩夢¹, 立岡晃太郎¹, 櫻田夏弥², 木村明洋³, 伊藤繁³, 鬼頭宏任^{1,2} (1近畿大院・総理研, 2近畿大・理工, 3名大院・理・物理)</p>	<p>1aB-05 シロイヌナズナ根の窒素欠乏応答におけるホメオボックス型転写因子 HB52 の機能解析 赤池ひな子, 秋岡恵理菜, 櫻庭康仁, 柳澤修一 (東大院, 農学生命, アグテック)</p>	<p>1aC-05 シロイヌナズナを用いた揮発性有機物のリアルタイム検出プラットフォーム 関本奏子^{1,2}, 杉山龍介^{1,3}, 福山大輔², 呂行子³, 野元美佳^{1,4}, 多田安臣⁴, 相原悠介^{1,5} (1JST さきがけ, 2横市大・院理, 3千葉大・院薬, 4名大・遺伝子実験施設, 5神戸大・院理)</p>	<p>1aD-05 ㊦ Essential Contributions of GmDDM1 to Epigenetic Stability and Seed Development in Soybean Ahsen Gers¹, Kana Shiraiishi¹, Kaoru Tonosaki², Satoru Okamoto¹, Akito Kaga³, Ryota Kuroda¹, Jun-ichi Matsuoka^{1,4}, Atsushi Toyoda⁵, Taiji Kawakatsu⁶, Chiho Maruko¹, Kazuki Takahashi¹, Keiichi Okazaki¹, Moeiko Okada¹, Eigo Fukai¹ (1Grad. Sch. Sci. Tech., Niigata Univ., 2Kihara Inst. Biol. Res., Yokohama City Univ., 3Inst. Crop Sci. (NICS), NARO, 4Cent. Reg. Agr. Res. Cent., NARO, 5Adv. Gen. Cent., NIG, 6Exp. Plant Div., RIKEN BRC)</p>
10:45	<p>1aA-06 ㊦ Roles of carotenoid glycosides in the protection of photosystem II from photoinhibition in the cyanobacterium <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 Rattanaporn Songserm¹, Shinichi Takaichi², Haruhiko Jimbo¹, Yoshitaka Nishiyama¹ (1Grad. Sch. Sci. Eng., Saitama Univ., 2Dept. Mol. Microbiol., Tokyo Univ. Agr.)</p>	<p>1aB-06 栄養欠乏時に起こる miRNA ダイナミクスにおける HASTY タンパク質の役割 島居あすか, 楊姿倫, 櫻庭康仁, 柳澤修一 (東大院, 農学生命, アグテック)</p>	<p>1aC-06 環境ストレス下におけるダイズ栽培土壌の統合オミックス解析 松本涼夏¹, 小林祐², 能勢結衣³, 市橋泰範³, 中谷大地⁴, 樺島文恵⁴, 草野都^{3,5,6} (1筑波大・院生命地球科学, 2筑波大・生命環境, 3理化学研究所環境資源科学研究所, 4LECOジャパン合同会社, 5筑波大・生命環境系, 6筑波大・つくば植物機能イノベーション研究センター)</p>	<p>1aD-06 ㊦ Epigenetic defense priming by <i>Lr24</i> modulates post-transcriptional regulation in wheat during leaf rust pathogenesis Uzma Afreen, Kunal Mukhopadhyay, Manish Kumar (Department of Bioengineering and Biotechnology, Birla Institute of Technology, Mesra, Ranchi-835215, Jharkhand, India)</p>

E会場	F会場	G会場	H会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
発生・形態形成	新技術開発	環境応答A / 生理反応	環境応答B / 環境ストレス				
<p>1aE-01 シロイヌナズナの種強勢に関連する候補遺伝子の機能の検証 前田龍舞¹, 和田七夕子¹, Wijayanti Putri¹, 宇津木一陽¹, 高山誠司², 伊藤寿朗¹ (1奈良先端大バイオ・花発生分子遺伝学, 2東大院・農学生命科学研究科)</p>	<p>1aF-01 異種発現系を用いたシロイヌナズナGLRの機能解析基盤の構築 辰巳智秋¹, 佐藤海老根映美¹, 須田啓¹, 豊田正嗣^{1,2,3} (1埼玉大・院・理工, 2SunRISE, サントリー生命科学財団, 3華中農業大・植物科学技術学院)</p>	<p>1aG-01 穀物のフィチン酸含量を低減させるINO1標的のヒットフラグメントの探索と構造展開 赤羽根健生^{1,2}, 神野智司³, 岡村幸輝², 池田和由^{1,4}, 米澤朋起^{4,5}, 清水祐吾¹, 長坂征治², 加藤悦子⁶, 廣津直樹² (1理研・計算科学研究センター, 2東洋大・院・生命科学, 3株式会社CRYO SHIP, 4慶應大・薬学, 5ライフマテックス株式会社, 6東洋大・院・食環境科学)</p>	<p>1aH-01 B4-RAF キナーゼはヒメツリガネゴケにおける SnRK2 非依存的な浸透圧ストレス応答に参与している 水野真歩, 四井いずみ, 太治輝昭, 坂田洋一 (東京農大・バイオ)</p>	シンポジウムのコーナー Frontiers in Developing Climate-Resilient and Socially Accepted Plants (9:30-12:30)	シンポジウムのコーナー Unlocking New Frontiers in Plant Physiology with Mass Spectrometry (9:30-12:30)	シンポジウムのコーナー Advances in Engineering and Regulation of Plastids and Photosynthesis (9:30-12:30)	09:30
<p>1aE-02 ㊦ Molecular landscape of wound-induced callus: Illuminating stem cell reformation and function through spatial omics Akira Iwase¹, Minne Max¹, Kotaro Torii^{1,2}, Hatsune Morinaka¹, Tetsuya Mori¹, Ayako Kawamura¹, Arika Takebayashi¹, Masami Y. Hirai¹, Keiko Sugimoto¹ (1RIKEN CSRS, 2RIKEN TRIP-AGRS)</p>	<p>1aF-02 根圏電顕イメージング法の開発: 生物断面研磨 SEM 法で根圏微生物を捉える 豊岡公徳, 齋藤夕子, 小島聡美, 後藤友美, 佐藤満子 (理研CSRS)</p>	<p>1aG-02 環境ストレスに呼応するペプチドの分子の新たな役割 下遠野明恵, Yujuan Du (名古屋大学)</p>	<p>1aH-02 シロイヌナズナ野生系統間に認められる浸透圧耐性多様性メカニズムの解析 村越祐介¹, 番場康介¹, 平野貴大¹, 増田悟郎³, 有賀裕剛², 田中啓介³, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2農研機構・遺伝資源, 3東京農大・ゲノムセンター)</p>				09:45
<p>1aE-03 ㊦ Morphological and Phenological Characterization of Flowering Traits in French Marigold (<i>Tagetes patula</i> L.) Dewi Sukma¹, Muhamad Aksan Raditya¹, Syarifah Iis Aisyah¹, Krisantini Krisantini¹, Muhamad Syukur¹, Ming-Tsair Chan² (1Department of Agronomy and Horticulture, Faculty of Agriculture, IPB University, Indonesia, 2Academia Sinica Biotechnology Center in Southern Taiwan, Agricultural Biotechnology Research Center, Taiwan)</p>	<p>1aF-03 ㊦ Block-face serial fluorescence microscopy for plant tissue imaging at a cellular level Dongbo Shi (RIKEN CSRS)</p>	<p>1aG-03 キレート戦略による鉄吸収が、小麦・ブライポディウムの持続的高温ストレス適応をもたらす 南杏鶴^{1,2}, 恩田義彦¹, 清水みなみ¹, 山口(上原)由紀子¹, 野副朋子^{3,4}, 鈴木基史⁵, 田野井慶太郎⁴, 持田恵一^{1,2,6} (1理研・CSRS, 2横浜市立大学・木原生物学研究所, 3明治学院大学・教養教育センター, 4東京大学・農学生命科学研究科, 5愛知製鋼, 6長崎大学・情報データ科学部)</p>	<p>1aH-03 シロイヌナズナ <i>acqos</i> 背景における塩馴化後浸透圧耐性欠損変異株の単離 玉木健太¹, 増田悟郎², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2東京農大・ゲノムセンター)</p>				10:00
<p>1aE-04 オオムギの葉鞘基部に「窓」を開け、花序メリステムを外科的にカットするようになるか 田中真理¹, 赤司裕子¹, 辻寛之^{1,2} (1横浜市大・木原生研, 2名大・生物センター)</p>	<p>1aF-04 TfD-X を用いた正確かつ高効率なイネ遺伝子改変技術の確立 室本翔太¹, 加藤むうむ¹, 浅利海優¹, 和田直樹², 刑部敬史², 刑部祐里子¹ (1東京科学大, 2徳島大院)</p>	<p>1aG-04 ㊦ L-DOPA promotes cadmium tolerance and triggers iron deficiency genes in <i>Arabidopsis thaliana</i> Ching-Yuan Chang, En-Jung Hsieh, Louis Grillet (National Taiwan University, Department of Agricultural Chemistry)</p>	<p>1aH-04 シロイヌナズナ膜交通因子 PEN1 は、浸透圧ストレス応答における根の伸長を制御する 菊地美帆¹, 吉田浩人², 大谷晴香², 高橋史憲^{1,2} (1東京理科大・先進工, 2東京理科大・院先進工)</p>				10:15
<p>1aE-05 イネの茎頂メリステムにおける PHYTOMap 実験系の開発 岩間考紀¹, 森下友梨香¹, 辻寛之^{2,3} (1名大院・生命農学, 2横浜市大・木原生研, 3名大・生物センター)</p>	<p>1aF-05 シロイヌナズナ葉緑体ゲノム <i>petA</i> 遺伝子を標的とした効率的なランダム変異導入 中里一星, 矢守航, 田村美子, 増田麗子, 有村慎一 (東大・院農生)</p>	<p>1aG-05 マグネシウムは酸化型グルタチオンの成長調節機能を強化する 望月智史, 小川健一 (岡山生物研)</p>	<p>1aH-05 ヒメツリガネゴケの環境ストレス応答における二成分制御系の機能解析 和久亮太, 佐々木健人, 四井いずみ, 太治輝昭, 坂田洋一 (東京農大・バイオ)</p>				10:30
<p>1aE-06 Expansion microscopy によるイネ茎頂メリステムの細胞内イメージング系の開発 石田由吉¹, 森下友梨香², 岩間考紀², 辻寛之^{3,4} (1名大・農, 2名大院・生命農学, 3名大・生物センター, 4横浜市大・木原生研)</p>	<p>1aF-06 ストレス応答シス配列のノックインは植物の環境ストレス耐性を上昇させる 三木大介 (深圳理工大学)</p>	<p>1aG-06 GSSG 施用によるリン吸収効率の向上と成長促進 小川健一, 望月智史, 逸見健司 (岡山県農林水産総合センター生物科学研究所)</p>	<p>1aH-06 植物体地上部に塩が付着する潮害ストレス応答の解析 千葉陽一¹, 村越祐介¹, 細井昂人², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2東京農大・ゲノムセンター)</p>				10:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月13日(金) 午前(9:30-12:30)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	一次代謝	特化(二次)代謝	ゲノム機能・遺伝子発現制御
11:00	<p>1aA-07 始原紅藻 <i>Cyanidioschyzon merolae</i> からみたフィコピリンソームの構造の進化における考察 藤田雄也^{1,2}, 関莊一郎¹, 川本晃大^{1,2}, 河合繁³, 広瀬侑³, 栗栖源嗣^{1,2} (1大阪大学蛋白質研究所, 2大阪大学大学院工学研究科, 3豊橋技術科学大学大学院工学研究科)</p>	<p>1aB-07 野生シロイヌナズナの低窒素環境克服形質に関わる主働遺伝子の探索 門田慧奈¹, 井内聖², 小林正智², 松永浩子³, 竹山春子^{3,4,5}, 祐宜淳太郎⁶, 櫻庭康仁⁶, 柳澤修一⁶, 射場厚¹ (1九州大・院・理, 2理研BRC, 3早大・ナノライフ創研, 4早大・院・先進理工, 5早大・生命動態研, 6東京大・院・農学生命科学)</p>		<p>1aD-07 シロイヌナズナアクチン脱重合因子によるヒストン修飾の制御を介した遺伝子発現制御機構の解析 中野史弥¹, 乾弥生², 東見大³, 吉原静恵³, 松永幸大², 稲田のりこ¹ (1大工大・院農, 2東大・院新領域, 3大工大・院理)</p>
11:15	<p>1aA-08 貝池ケロジェン中に残存する光合成タンパク質の顕微分光解析 小島理沙¹, 石川朋宏², 齊藤諒介³, 近藤徹^{1,4} (1基生研, 2科学大・生命理工, 3山口大・地球科学, 4生命創成探究センター)</p>	<p>1aB-08 LBD 型転写因子による個体レベルでの窒素吸収・代謝最適化のしくみ 木羽隆敏¹, 高橋花², Yukino Sada², 門田宏太³, 榊原均² (1岡大・植物研, 2名大・院生命農, 3島根大・院自然科学)</p>		<p>1aD-08 浸透圧ストレス誘導性液液相分離を介した新規 ABA 合成制御転写因子の機能解析 佐藤理^{1,2}, 藤本聡³, 藤田美紀², 高橋史憲², 桑田啓子⁴, 松永幸大^{1,3}, 篠崎和子^{5,6}, 篠崎一雄² (1東大・新領域, 2理研・環境資源科学研究セ, 3東理大・理工, 4名大・ITbM, 5東大・農学生命科学, 6東京農大・農生命科学研)</p>
11:30	<p>1aA-09 極限環境に生息するシアノバクテリアにおける光合成装置の強光順応 河合繁¹, 高宗奎介¹, 村上匠², 瀬川高弘³, 竹内望⁴, 広瀬侑¹ (1豊橋技術大・院工, 2東科大・生命, 3山梨大・医, 4千葉大・理)</p>	<p>1aB-09 シロイヌナズナの窒素欠乏応答性遺伝子発現に関わる転写因子 FBH4 と新規標的遺伝子の機能解析 眞木美帆¹, 小椋門花², 橋朋花², 稲垣宗一³, 高木純平¹, 佐藤長緒¹ (1北大・院・理, 2北大・院・生命, 3東大院・理)</p>		<p>1aD-09 ㊦ H3K9 acetylation dynamics orchestrate early anti-herbivore defence in Arabidopsis Ahmed Yusuf^{1,2}, Kota Wakaya², Takuya Sakamoto³, Takuya Uemura², Koudai Okamura², Abdelaziz Ramadan², Akira Nozawa⁴, Takamasa Suzuki⁵, Yayoi Inui⁶, Sachihito Matsunaga⁶, Tatsuya Sawasaki⁴, Gen-ichiro Arimura² (1RIKEN - CSRS - Cambial Stem Cell System ECL Research Unit, 2Department of Biological Science and Technology, Faculty of Advanced Engineering, Tokyo University of Science, Tokyo, Japan, 3Department of Science, Faculty of Science, Kanagawa University, Yokohama, Japan, 4Proteo- Science Center, Ehime University, Matsuyama, Japan, 5College of Bioscience and Biotechnology, Chubu University, Kasugai, Japan, 6Department of Integrated Biosciences, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo, Kashiwa, Japan)</p>
11:45	<p>1aA-10 ユースティグマト藻 <i>Trachydiscus minutus</i> の LHC における赤色励起子の構造的・機能的解析 関莊一郎¹, Lorenzo Cupellini², David Bina^{3,4}, Elena Betti², Petra Urajová⁵, 田中秀明¹, 宮田知子^{6,7}, 難波啓一^{6,7}, 栗栖源嗣^{1,7,8}, Tomáš Polívka³, Radek Litvin^{3,4}, 藤井律子^{9,10} (1阪大・蛋白研, 2Dipartimento di Chimica e Chimica Industriale, Univ. of Pisa, 3Faculty of Science, Univ. of South Bohemia in České Budějovice, 4Czech Academy of Sciences, Biology Centre, Institute of Plant Molecular Biology, 5Centre Algatech, Institute of Microbiology, Czech Academy of Sciences, 6阪大・生命機能, 7阪大・YOKOGUSHI協働研, 8阪大・OTRI, 9阪公大・理, 10阪公大・ReCAP)</p>	<p>1aB-10 糖欠乏による植物免疫活性の低下に関わる分子機構の解析 江島早紀¹, Linnan Jie^{2,3}, 眞木美帆², 安田盛貴⁴, 山田晃嗣⁵, 杉崎歩美¹, 高木純平², 野元美佳⁶, Xiu-Fung Xin³, 多田安臣⁶, 西條雄介⁴, 佐藤長緒² (1北大・院・生命, 2北大・院・理, 3中国科学院植物生理生态研究所, 4奈良先端大・バイオ, 5徳大・理工, 6名大・遺伝子)</p>		<p>1aD-10 ゼニゴケにおける DNA メチル化とヒストン修飾のクロストーク 久能理子¹, Olivier Mathieu², 池田陽子¹ (1岡山大学・資源植物科学研究所, 2クレルモンオーベルニュ大学・フランス)</p>
12:00	<p>1aA-11 ㊦ Exploring Chlorophyll-Dependent Thylakoid Membrane Biogenesis and Remodeling in The Cyanobacterium <i>Leptolyngbya Boryana</i> Ji Won Kim, Kentaro Usui, Haruki Yamamoto, Yuichi Fujita (Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University)</p>	<p>1aB-11 C/N ストレスに応じた膜交通制御における ARF-GEF MIN7/BEN1/BIG5 と相互作用因子 HLB1 の役割 遠藤海斗¹, 松井博輝², 江田樹那², 眞木美帆³, 高木純平³, 佐藤長緒³ (1北大・院生命, 2北大・理, 3北大・院理)</p>		<p>1aD-11 ㊦ Genome-wide R-loop redistribution in response to pre-mRNA splicing defects in Arabidopsis Yuheng Wang¹, Asuka Hirao², Mai Mukai², Seira Nakatsuka¹, Nobuhiro Akiyoshi¹, Misato Ohtani^{1,2,3} (1Grad Sch Front Sci, Univ Tokyo, 2Grad Sch Sci Technol, NAIST, 3RIKEN, CSRS)</p>
12:15	<p>1aA-12 シアノバクテリアの始原型フィコピリタンバク質 APLA の解析 中辻学人¹, 玉川璃桜², 河合繁¹, 広瀬侑^{1,2} (1豊橋技術大・工, 2豊橋技術大・院・工)</p>	<p>1aB-12 糖は窒素欠乏時にホスファチルグリセロール合成促進を介してクロロフィル合成を制御する 吉竹悠志¹, 岡崎圭吾², 太田啓之^{2,3}, 下嶋美恵², 深尾陽一朗¹ (1立命館大・生命, 2東京科学大・生命理工院, 3ファイトリビッド・テクノロジーズ)</p>		<p>1aD-12 ㊦ ABA-Responsive MYB Transcription Factors Regulate Expression of Allergenic Fra Protein During Leaf Development in Strawberry Chonprakun Thagun¹, Yoshinori Fukasawa¹, Tomohiro Suzuki¹, Takahito Nomura¹, Masanori Okamoto¹, Yutaka Kodama^{1,2} (1C-Bio, Utsunomiya Univ., 2Grad. Sch. Regional Dev. Creativity, Utsunomiya Univ.)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
発生・形態形成	新技術開発	環境応答A / 生理反応	環境応答B / 環境ストレス				
<p>1aE-07 成長相転換の最初期にイネの茎頂メリステムで生じる発生学的変化 本多萌恵¹, 田中真理¹, 田中若奈², 辻寛之^{1,3} (1)横浜市大・木原生研, (2)広島大院・統合生命, (3)大・生物センター)</p>	<p>1aF-07 ペプチド修飾カーボンナノチューブを利用したミトコンドリアへの効率的な遺伝子送達 小田原真樹¹, Simon Law², 森真愛², 沼田圭司^{1,2} (1)京大・院工, (2)理研・環境資源)</p>	<p>1aG-07 ㊦ Molecular mechanisms underlying foliar urea uptake in Arabidopsis: Insights from transporter mutants and GWAS Raj Kishan Agrahari, Toru Fujiwara, Takehiro Kamiya (Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo)</p>	<p>1aH-07 ヒメツリガネゴケにおける SAL1-PAP レトログレードシグナル経路の機能解析 太堀瑠介, 宮部マルコス 武志, 大谷知希, 川田紘次郎, 伊藤晋作, 四井いずみ, 太治輝昭, 坂田洋一 (東京農大・バイオ)</p>	シンポジウム01 Frontiers in Developing Climate-Resilient and Socially Accepted Plants (9:30-12:30)	シンポジウム02 Unlocking New Frontiers in Plant Physiology with Mass Spectrometry (9:30-12:30)	シンポジウム03 Advances in Engineering and Regulation of Plastids and Photosynthesis (9:30-12:30)	11:00
<p>1aE-08 花成制御機構における CLAVATA2 の機能解析 桶谷知里, 岡本龍史, 木下温子 (都立大・院・理)</p>	<p>1aF-08 ㊦ Automated plant genetic engineering Matthew Hudson (University of Illinois at Urbana-Champaign)</p>	<p>1aG-08 果実離層部におけるカルシウム分布と果実成熟の相関解析 野田祐作, 尹永根, 榎本一之, 山田尚人, 河地有木 (QST・高崎量子技術基盤研究所)</p>	<p>1aH-08 キヌアの塩ストレスへの適応を支えるゲノムおよび分子生理機構の解析 小林安文¹, 藤田泰成^{1,2} (1)国際農研, (2)筑波大・生命環境)</p>				11:15
<p>1aE-09 シロイヌナズナ花成制御遺伝子 FT の転写調節に関わる CCAAT1 cis-element の accession 間の機能の違いについて 三木葵葉¹, 大野奈津美¹, 原田悟², 根岸克弥³, 遠藤真咲⁴, 小林括平¹, 土岐精一^{4,5,6,7}, 阿部光知⁸, 賀屋秀隆¹ (1)愛媛大・院農, (2)愛媛大・農, (3)農研機構・果茶研, (4)農研機構・生物機能利用, (5)龍谷大学・農学部・植物生命, (6)横浜市大・生命ナノ, (7)横浜市大・木原生研, (8)東京大学・大学院総合文化)</p>	<p>1aF-09 カーボニュートラルへの貢献に向けたキャッサバ分子育種の推進 武田智之¹, 内海好規^{1,2}, 田中真帆¹, 内海雅佳¹, 岩瀬哲³, 竹林有理佳³, 岡本芳恵¹, 三浦謙治⁴, 杉本慶子³, 関原明^{1,5,6} (1)理化学研究所CSRS植物ゲノム発現研究チーム, (2)福山大学生命工学部健康栄養科学科, (3)理化学研究所CSRS細胞機能研究チーム, (4)つくば機能植物イノベーション研究センター, (5)横浜市立大学木原生物学研究所, (6)埼玉大学理工学研究科)</p>	<p>1aG-09 シロイヌナズナの屈曲誘導性側根形成におけるカルシウムシグナルとオーキシン極大確立 赤菖羽純¹, 吉田空冬¹, 高野勇太¹, 御友淳², 海老根一生¹, 豊田正嗣^{1,3,4} (1)埼玉大・院・理工, (2)埼玉大・理, (3)SunRISE・サントリー生命科学財団, (4)華中農業大・植物科学技術学院)</p>	<p>1aH-09 シロイヌナズナ耐塩性における CCX 遺伝子群の機能解析 小山珠実¹, 長島由布子¹, 有賀裕剛², 西村浩二³, 堀江智明⁴, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1)東京農大・バイオ, (2)農研機構・遺伝資源, (3)鳥根大学・生物資源科学部, (4)信大・繊維)</p>				11:30
<p>1aE-10 変異型 FT を用いた FT 輸送機構の解明 行方安彦¹, 小坂井南実², 阿部光知¹ (1)東大・院総合文化, (2)東大・院理)</p>	<p>1aF-10 ㊦ A tightly regulated copper-inducible transient gene expression system in <i>Nicotiana benthamiana</i> incorporating a suicide exon and Cre recombinase Bing-jen Chiang (Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica)</p>	<p>1aG-10 シロイヌナズナにおけるカルシウム依存的な接触感応機構の解析 福井大良¹, 上村卓史², 浅川裕紀¹, 海老根一生¹, 豊田正嗣^{1,3,4} (1)埼玉大・院・理工, (2)東京理科大・生命システム工, (3)SunRISE・サントリー生命科学財団, (4)華中農業大・植物科学技術学院)</p>	<p>1aH-10 SALT 遺伝子の欠損により高い耐塩性を獲得したシロイヌナズナ野生系統 Lch-0 の解析 梶野拓磨¹, 内山佳織¹, 野田祐作², 西村浩二³, 小西純幸⁴, 長谷純宏², 堀江智明⁵, 山田尚人², 有賀裕剛⁶, 馬建鋒⁴, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1)東京農大・バイオ, (2)量子科学技術研究開発機構・高崎量子技術基盤研究所・量子バイオ基盤研究所, (3)鳥根大学・生物資源科学部・生命科学科, (4)岡山大学・資源植物科学研究所, (5)信州大学・繊維学部・応用生物科, (6)農研機構・遺伝資源研究センター)</p>				11:45
<p>1aE-11 <i>Nicotiana benthamiana</i> における FT 様遺伝子 NbFT1-3 の花成制御機能の解析 古川成雪¹, 黒谷賢一², 小林括平¹, 野田口理孝², 賀屋秀隆¹ (1)愛媛大学・院農学, (2)京都大学・院理学)</p>	<p>1aF-11 遺伝子組換え体の奇形回避を目的とした DR 発現制御系 小山翔平¹, 井川智子^{1,2,3} (1)千葉大・院園芸, (2)千葉大・植物分子科学研究センター, (3)千葉大・宇宙園芸研究センター)</p>	<p>1aG-11 機械学習によるヒメツリガネゴケ仮根の三次元セグメンテーションと微小重力影響の解析 木原直樹¹, 若林孝尚², 山浦遼平¹, 玉置大介³, 蒲池浩之³, 山内大輔⁴, 峰雪芳宣⁴, 星野真人⁵, 上杉健太郎⁶, 嶋津徹⁶, 笠原春夫⁷, 鎌田源司⁸, 鈴木智美⁹, 日波祐二¹⁰, 半場祐子¹¹, 久米篤¹², 藤田知道¹³, 唐原一郎¹ (1)富山大・院・理工, (2)富山大・理, (3)富山大・学術・理, (4)兵県大・院・理, (5)高輝度光科学研究センター, (6)日本宇宙フォーラム, (7)有人宇宙システム, (8)AES, (9)AXA, (10)宮城大・食産, (11)京工織大・応用生物, (12)九大・院・農, (13)北大・院・理)</p>	<p>1aH-11 ㊦ Overexpression of the vacuolar H⁺-pyrophosphatase gene, <i>SuHPP</i>, from a halophyte <i>Sporobolus virginicus</i> enhances salt tolerance in <i>Arabidopsis</i> Roksana Aftab¹, Hiromi Suzuki², Yuichi Tada² (1)Grad Sch of Bionics, Tokyo Uni of Tech, (2)Sch. of Biosci. and Biotech. Tokyo Uni of Tech)</p>				12:00
<p>1aE-12 トマトリボカリンの機能と組織別発現解析 小久保祥子¹, 富安美玖², 松井真直², 深沢知加子³, 本橋令子^{1,2,3} (1)静大・創造院, (2)静大・院農学, (3)静大・農学)</p>	<p>1aF-12 一過的遺伝子発現が可能な植物種の網羅的検索・14科・30属での GFP 発現に成功 庄司翼¹, 李真範², 三浦謙治³ (1)富山大・和漢研, (2)富山大・薬学和漢系(薬学), (3)筑波大・生命環境系)</p>	<p>1aG-12 基部陸上植物ヒメツリガネゴケを用いて重力応答経路の進化を探る 若山健太郎¹, 末満寛太¹, 藤田知道², 橋本悟史^{2,3} (1)北大・院生命科学, (2)北大・院理学研究, (3)JST さきがけ)</p>	<p>1aH-12 気温低下に応答した時計転写因子 CCA1 の翻訳後制御機構の解析 城所隆¹, 大川直輝², 高橋史憲^{3,4}, 溝井順哉², 刑部祐里子¹, 篠崎一雄⁴, 篠崎和子^{2,5} (1)東京科学大・生命理工, (2)東大・院・農学生命科学, (3)東京理科大・先進工学, (4)理研・環境資源科学研究七, (5)東京農大・農生命科学研)</p>				12:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月13日(金) 午後(14:00-17:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	一次代謝	植物生物間相互作用A	ゲノム機能・遺伝子発現制御
14:00	<p>1pA-01 ナンキョクカワノリの11量体遠赤色光吸収型アンテナ Pc-frLHC の最長波長蛍光はたった一つのサブユニットに由来するののか? 谷口遼^{1,2}, 小杉真貴子^{3,4}, 皆川純^{3,4}, 叶深¹, 柴田稜¹(¹東北大院・理,²学際高等研究教育院,³基礎生物学研究所,⁴総研大)</p>	<p>1pB-01 <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 がつくる脂肪酸のレパートリーの再検討 佐藤直樹¹, 神保晴彦², 西山佳孝²(¹東京大・院総合文化,²埼玉大・院理工)</p>	<p>1pC-01 ㊦ Decoding Plant Immune Recognition by Systematic Discovery of PAMP-PRR Interactions Yasuhiro Kadota¹, Bruno Pok Man Ngou¹, Michele Wyler², Marc W Schmid², Takehiro Suzuki¹, Markus Albert³, Naoshi Dohmae¹, Ken Shirasu^{1,4}(¹RIKEN, CSRS, Yokohama, Japan,²MWSchmid GmbH, Glarus, Switzerland,³University Erlangen-Nuremberg, Erlangen, Germany,⁴Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, Tokyo, Japan)</p>	<p>1pD-01 「なつきらり」と「コシヒカリ」の比較ゲノム解析による高温登熟関連遺伝子の選抜と機能解析 圓山恭之進^{1,2}, 小林麻子³, 中岡史裕², 坂井寛章⁴, 櫻井哲也⁵(¹国際農研,²筑波大・生命産業,³福井県農業試験場,⁴農研機構,⁵高知大・複合領域科学)</p>
14:15	<p>1pA-02 PSI-NDH 超複合体による低温 PSI 光害の抑制 竹内航¹, 播本慎太郎¹, 佐藤勇斗², 三宅親弘², 伊福健太郎¹(¹京大・院農,²神大・院農)</p>	<p>1pB-02 シアノバクテリア <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 の代謝改変による遊離脂肪酸生産 西本琴羽¹, 古島翼¹, 門脇大朗¹, 神保晴彦¹, 山本哲史², 高谷信之³, 愛知真木子³, 池田和貴⁴, 小俣達男³, 西山佳孝¹(¹埼玉大院・理工,²大成建設(株),³中部大・応用生物,⁴かずさDNA研)</p>	<p>1pC-02 ㊦ Phylogenomics and structure-guided engineering of immune receptors in plants Ngou Bruno Pok Man¹, Michele Wyler², Marc W Schmid², Takehiro Suzuki¹, Markus Albert³, Naoshi Dohmae¹, Yasuhiro Kadota¹, Ken Shirasu^{1,4}(¹RIKEN, CSRS, Yokohama, Japan,²MWSchmid GmbH, Glarus, Switzerland,³University Erlangen-Nuremberg, Erlangen, Germany,⁴Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, Tokyo, Japan)</p>	<p>1pD-02 イネ花成抑制遺伝子の発現パターンを決定する2つの遠位シス因子 河内匠¹, 小郷裕子², 伊藤博紀³, 三村真生¹, 井澤毅¹(¹東大・院農学生命科学,²農研機構・野菜花き研究部門,³農研機構・作物研)</p>
14:30	<p>1pA-03 <i>C₂Flaveria bidentis</i> において光化学系IIのコアサブユニットの蓄積に関するNON-PHOTOCHEMICAL QUENCHING7 の解析 宗景ゆり¹, 石崎亜衣¹, 孝子紗也佳¹, 金高壮汰¹, 石橋幸大¹, 高林厚史², 田中亮一², 大井崇生³, 伊福健太郎⁴(¹関学大・生命環境,²北大・低温研,³高知工科大・理工,⁴京大・院農)</p>	<p>1pB-03 <i>Nannochloropsis oceanica</i> の光合成活性維持による細胞増殖および油脂生産の向上 葛運翔¹, 神保晴彦¹, 前田真一郎², 岡崎久美子³, 坂本敦³, 岩井雅子⁴, 太田啓之⁴, 西山佳孝¹(¹埼玉大・院理工学,²マツダ(株),³広島大・院統合生命科学,⁴ファイトリビッド・テクノロジー(株))</p>	<p>1pC-03 ㊦ Effector-triggered defense mechanisms restricting bacterial water-soaking under high humidity Shigetaka Yasuda¹, Arulthivan Rajendram¹, Taiga Ishihara¹, Rahul Sk^{2,3}, Akihisa Shinozawa², Yusuke Saijo¹(¹Grad. Sch. Sci. Tech., NAIST,²Dep. Biosci., Tokyo Univ. Agric.,³NGRC, Tokyo Univ. Agric.)</p>	<p>1pD-03 ㊦ An Investigation of Multiple Transcription Initiation Sites of <i>atp9</i> in <i>Arabidopsis thaliana</i> Jingxiu Ji¹, Akihito Mamiya¹, Chang Zhou², Sachi Takenaka¹, Issei Nakazato², Shin-ichi Arimura², Mizuki Takenaka¹(¹Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ.,²Grad. Sch. Agric., Univ. Tokyo)</p>
14:45	<p>1pA-04 紫外励起による mTurquoise2 の蛍光を利用した PSII へのエネルギー伝達系の構築 池田瑞起¹, 石山颯大², 植野嘉文³, 鶴達也^{2,3}(¹東理大・理,²東理大・理学研究科,³東理大・教養教育研究院)</p>	<p>1pB-04 クリソラミナリン合成関連遺伝子のノックアウトによる <i>Nannochloropsis oceanica</i> の脂質生産性への影響 古橋康弘¹, 村上博紀², 金子真也³, 相澤康則³, 太田啓之^{1,3,4}, 櫻井望¹(¹かずさDNA研究所・先端研究開発,²静岡大・グローバル共創科学,³東京科学大・生命理工学,⁴(株)ファイトリビッド・テクノロジー)</p>	<p>1pC-04 ㊦ Differential modulation of pattern-recognition receptor signaling preserves plant immunity under phosphate deficiency Natsuki Tsuchida¹, Maxmilyand Leiwakabessy¹, Kota Yamashita², Taishi Umezawa², Yusuke Saijo¹(¹Grad. Sch. Sci and Tech., NAIST,²BASE, Tokyo Univ. Agric. Tech.)</p>	<p>1pD-04 寄生植物と宿主植物との間に原形質連絡を形成する分子機構の探究 青木孝, 森長馨, 丹羽顕寛(大阪公立大・農)</p>
15:00	<p>1pA-05 還元型酸化グラフェンと生体材料を用いた人工光合成系の作成 石井大翔¹, 曾根俊介¹, 田中奨大¹, 植野嘉文², 鶴達也^{1,2}(¹東京理科大・院・理学研究科,²東京理科大・教養教育研究院)</p>	<p>1pB-05 ㊦ Investigating the role of LDGTS in <i>Nannochloropsis oceanica</i> stress response Arif Agung Wibowo¹, Hiroki Murakami², Yasuhiro Furuhashi¹, Hiroyuki Ohta^{3,4}, Nozomu Sakurai¹(¹Department of Frontier Research and Development, Kazusa DNA Research Institute, 2-6-7 Kazusa-kamatari, Kisarazu 292-0818, Chiba, Japan,²Faculty of Global Interdisciplinary Science and Innovation, Shizuoka University, 836 Ohya, Suruga-ku, Shizuoka 422-8529, Shizuoka, Japan,³School of Life Science and Technology, Tokyo Institute of Technology, 4259-B-65 Nagatsuta-cho, Midori-ku, Yokohama 226-8501, Kanagawa, Japan,⁴Phytolipid Technologies Co., Ltd. 4259-3 Nagatsuta-cho, Midori-ku, Yokohama 226-8510, Kanagawa, Japan)</p>	<p>1pC-05 ㊦ Mechanism for Phytocytokine-induced Defense Sensitization during Phosphate Starvation in Natural Variation of <i>Arabidopsis thaliana</i> Maxmilyand Leiwakabessy, Natsuki Tsuchida, Yusuke Saijo (Nara Institute of Science and Technology)</p>	<p>1pD-05 異質倍数体寄生植物ネナシカズラのゲノム解析 瀬川天太¹, 高川仁起², 横山隆亮², 佐藤杏子³, 伊藤武彦⁴, 小笠原一郎¹(¹サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社,²東北大・院・生命科学,³富山大・学術・理,⁴東京科学大)</p>
15:15	<p>1pA-06 多周波電子磁性共鳴(EPR)法によるマンガングラスター S₀ 状態の磁気構造解析 小崎慎也, 三野広幸(名大・院理)</p>	<p>1pB-06 油脂産生微生物類 <i>Nannochloropsis</i> がもつ3つのNAD kinase の同定 大橋そら¹, 児玉豊², 石川寿樹¹, 川合真紀¹(¹埼玉大・院理工,²宇都宮大・バイオセンター)</p>	<p>1pC-06 2菌株のタバコ野火病菌により誘導されるベンサミアナタバコの免疫応答の比較解析 中尾有那, 加藤新平(信大・院総合医理工)</p>	<p>1pD-06 シロイヌナズナのサーモスベルミンを介した翻訳制御におけるRNA修飾の重要性 皿海充, F.M. Tommoy Chowdhury, 高橋卓(岡山大・院・環境生命自然科学)</p>

E会場	F会場	G会場	H会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
発生・形態形成	新技術開発	環境応答A / 生理反応	環境応答B / 環境ストレス				
<p>1pE-01 ㊦ Dissection of the differentiation programs of two distinct idioblast types through the FAMA-WSB-SCAP1 network Yuta Horiuchi¹, Hikari Kitani², Nobutoshi Yamaguchi², Toshiro Ito², Makoto Shirakawa¹ (1Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, 2Nara Institute of Science and Technology)</p>	<p>1pF-01 モモのアグロバクテリウム-托葉基部接合種法による効率的な形質転換体の形成 田村勝徳¹, 深松陽介¹, 鶴木悠治郎², 小田賢司¹ (1岡山県農林水産総合センター生物科学研究所, 2岡山県農林水産総合センター農業研究所)</p>	<p>1pG-01 褐藻セイヨウハバノリにおける青色光およびアクチン繊維に依存した葉緑体運動の解析 日山津奈美¹, 小亀一弘², 笠原賢洋³, 高橋文雄⁴, 吉川伸哉¹ (1福井県大・海洋, 2北大・理, 3立命館大・生命科学, 4東邦大・薬)</p>	<p>1pH-01 ヒメツリガネゴケの低温におけるフィトクロムの機能解析 石川凛¹, 井上誠也¹, 山田辰之介¹, 杉森ひかる¹, 江藤奈々¹, 中愛里¹, 馬場悠月¹, 陣野十萌¹, 篠澤章久¹, 竹澤大輔², 四井いずみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹ (1東京農大・バイオ, 2埼玉大・理理工学)</p>	X会場 シンポジウムの4 Printing and Memory of Plants in Facing Environmental Changes (14:00-17:00)	Y会場 シンポジウムの5 Advances in Cellular and Molecular Signaling in Response to Internal and External Stimuli from Algae to Plants (14:00-17:00)	Z会場 シンポジウムの6 Underlying molecular antagonisms as drivers of plant diversification and ecological adaption (14:00-17:00)	14:00
<p>1pE-02 C₃種 <i>Flaveria bidentis</i> におけるオーキシン応答性転写因子 FbDOF1A の発現パターン解析 藤木海舟¹, 小野知世, 奥殿健, 谷口幸美, 宗景ゆり (関西学院大・理理工学)</p>	<p>1pF-02 ㊦ Ethics of GM Biofuels Tommi Lehtonen (University of Vaasa)</p>	<p>1pG-02 ホスホプロテオミクスによる気孔の青色光シグナル伝達の解析 榎原拓¹, 瀧京美¹, 加藤恭平¹, 深津孝平¹, 林優紀¹, 松林嘉克¹, 木下俊則^{1,2} (1名大・院理, 2名大・WPI-ITbM)</p>	<p>1pH-02 ヒメツリガネゴケにおけるフィトクロムを介した低温応答には SnRK2 が関与する 井上誠也¹, 石川凛¹, 山田辰之介¹, 杉森ひかる¹, 江藤奈々¹, 中愛里¹, 篠澤章久¹, 竹澤大輔², 四井いずみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹ (1東京農大・バイオ, 2埼玉大・理理工学 研究科)</p>				14:15
<p>1pE-03 <i>in vitro</i> イネ初期胚発生過程におけるオーキシン寄与の解析 熊倉温香¹, 佐藤萌子², 辻寛之^{2,3}, 橋本悟史⁴, 岡本龍史¹, 木下温子¹ (1東京都立大・院・生命科学, 2横浜市大・木原生研, 3名大・生物センター, 4北大・院・理)</p>	<p>1pF-03 ㊦ Stakeholder Tensions in an Emerging Field: The case of GM Biofuels Jouni K Juntunen¹, Mehedi Hasan², Roji Karki² (1University of Vaasa, School of Technology and Innovations, 2Wärtsilä Oyj)</p>	<p>1pG-03 環境刺激に応答した気孔開閉における PP2C.D の機能解析 村上公亮¹, 林優紀¹, 高橋洋平^{1,2}, 木下大地¹, 水谷未耶³, 松林嘉克¹, 木下俊則^{1,2} (1名古屋大・院理, 2名古屋大・ITbM, 3奈良先端大・バイオ)</p>	<p>1pH-03 1,4-ナフトキノン誘導体が低温及び ABA を介したシロイヌナズナの凍結耐性獲得に及ぼす影響 稲吉聖七¹, 北脇耕平¹, 稲葉靖子^{1,2}, 稲葉丈人¹ (1宮崎大・農, 2東北大院・生命)</p>				14:30
バイオリソース		<p>1pG-04 光誘導性気孔細胞における細胞膜 H⁺-ATPase の脱リン酸化を仲介する PP2C.D の SAUR を介した制御 金原誠也¹, 高橋宏二¹, 村上公亮¹, 林優紀¹, 木下俊則^{1,2} (1名古屋大・院・理, 2名古屋大・ITbM)</p>	<p>1pH-04 ㊦ Actin isovariant ACT8 regulates cold stress response in <i>Arabidopsis</i> through modulating GNOM-mediated cellular auxin homeostasis Rahman Abidur^{1,2}, Aya Hanzawa¹, Rahman Arif¹ (1UGAS, Iwate University, 2Dept. of Life Sciences, Fac. of Agriculture, Iwate Univ.)</p>				14:45
<p>1pE-04 コケ植物ヒメツリガネゴケにおける PIN 依存オーキシン輸送の様式と役割 末満寛大¹, 藤田知道², 橋本悟史^{2,3} (1北大・院生命科学, 2北大・院理, 3JST, PRESTO)</p>	<p>1pF-04 NBRP トマトによる変異体リソースとエクソームデータベースの開発 久家徳之¹, 杉本貢一², 川本祥子³, 福田直也¹, 江面浩¹ (1筑波大・つくば機能植物イノベーション研究センター, 2農研機構・高度分析研究センター, 3国立遺伝学研究所・情報研究系)</p>	<p>1pG-05 光誘導性気孔開口における C1 Raf-like kinase BHP の機能解析 丹下昭憲¹, 林優紀¹, 榎原拓¹, 林真妃², 松林嘉克¹, 木下俊則^{1,3} (1名古屋大・院理学, 2東北大・院生命科学, 3名古屋大・WPI-ITbM)</p>	<p>1pH-05 シロイヌナズナ乾燥種子に対する低温およびプラズマ処理と、発芽能力への影響についての調査 牧和摩¹, 梅根一夫², 立松圭³, 伊藤秀臣⁴ (1北海道大学 大学院生命科学院, 2自然科学研究機構 基礎生物学研究所IBBPセンター, 3自然科学研究機構 基礎生物学研究所 研究力強化戦略室, 4北海道大学 大学院理学研究院)</p>				15:00
<p>1pE-06 シダ植物 <i>Ceratopteris richardii</i> におけるホルモン動態とその作用 花田悠太¹, 瓦吹英毅¹, 橋本悟史² (1北大・院・生命科学, 2北大・理)</p>		<p>1pG-06 リン酸化プロテオミクスが明らかにする CO₂ に応答した細胞膜 H⁺-ATPase のリン酸化制御とその不可欠な役割 内橋海斗¹, 松林嘉克², 高橋宏二², 木下俊則^{1,2}, 高橋洋平^{1,2} (1名古屋大・ITbM, 2名古屋大・院理)</p>	<p>1pH-06 ㊦ Ethanol Application Enhances Freezing Stress Tolerance in <i>Arabidopsis</i> and Sugar Beet Daisuke Todaka¹, Kentaro Nakaminami¹, Akihiro Matsui¹, Seishi Ikeda², Thi Nhu Quynh Do^{1,4}, Maho Tanaka¹, Satoshi Takahashi¹, Chieko Torii¹, Junko Ishida¹, Atsushi J. Nagano^{5,6}, Motoaki Seki^{1,3,7} (1Plant Genomic Network Res. Team, RIKEN CSRS, 2Hokkaido Agri. Res. Center, NARO, 3KIBR, Yokohama City Univ., 4AGI, Vietnam, 5Bioscience and Biotechnology Center, Nagoya Univ., 6Institute for Advanced Biosciences, Keio Univ., 7Grad. Sch. Sci. Eng., Saitama Univ.)</p>				15:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月13日(金) 午後(14:00-17:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	一次代謝	植物生物間相互作用A	ゲノム機能・遺伝子発現制御
15:30	<p>1pA-07 ㊦</p> <p>Structural study of monomeric and dimeric photosystem I-LHCI supercomplexes from a bryophyte <u>Pi-Cheng Tsai</u>¹, <u>Romain La Rocca</u>¹, <u>Hiroyasu Motose</u>², <u>Jian-Ren Shen</u>¹, <u>Fusamichi Akita</u>¹ ¹RiIS, Univ. Okayama, ²Grad. Sch. Envir., Life, Nat. Sci. & Tech., Univ. Okayama)</p>	<p>1pB-07</p> <p>シロイヌナズナにおけるグルタチオン代謝の攪乱は防御応答の過剰活性化と栄養成長期の細胞死を引き起こす <u>伊藤岳洋</u>¹, <u>河原和馬</u>², <u>神谷岳洋</u>¹, <u>藤原徹</u>¹, <u>大津(大鎌)直子</u>³ ¹東大・院農, ²農工大・農, ³農工大・院農)</p>	<p>1pC-07</p> <p>ヒメツリガネゴケにおけるグループ A MPK の機能解析 <u>福井翔久</u>, <u>太治輝昭</u>, <u>坂田洋一</u>, <u>四井いずみ</u> ¹東京農大・バイオ)</p>	<p>1pD-07</p> <p>ホウ素輸送体 <i>NIP5;1</i> の mRNA 切断に関与するリボスクレアーゼの同定 <u>田中真幸</u>¹, <u>サウルソトマヨール</u>², <u>反田直之</u>¹, <u>藤原徹</u>¹ ¹大阪公立大・院農, ²東大・院農)</p>
15:45	<p>1pA-08</p> <p>光阻害修復途上の光化学系 II の観測を目指した網羅的単一分子分光解析 <u>渡辺喬介</u>, <u>叶深</u>, <u>柴田穰</u> ¹東北大学院)</p>	<p>1pB-08</p> <p>3種の穀物におけるフィターゼ活性と熱安定性の比較解析 <u>渡辺莉央子</u>¹, <u>加藤悦子</u>², <u>廣津直樹</u>¹ ¹東洋大・院生命科学, ²東洋大・院食環境科学)</p>	<p>1pC-08</p> <p>ヒメツリガネゴケ CCD (CHITIN-INDUCED CELL DEATH) の免疫応答における役割 <u>清野芳史</u>, <u>市橋武</u>, <u>太治輝昭</u>, <u>坂田洋一</u>, <u>四井いずみ</u> ¹東京農大・バイオ)</p>	<p>1pD-08 ㊦</p> <p>Elucidating the diversity of plant organellar RNA editosome <u>Jingchan Xie</u>, <u>Tenghua Wang</u>, <u>Mizuki Takenaka</u> ¹Graduate School of Science, Kyoto University)</p>
16:00	<p>1pA-09</p> <p><i>Flaveria</i> 属 C₂ 種と C₄ 様種の交雑 F₂ 集団を用いた C₄ 代謝酵素と NDH 複合体の蓄積量の相関解析 <u>中村明日香</u>, <u>笠井麻菜</u>, <u>石橋幸太</u>, <u>宗景ゆり</u> ¹関学大・院理工)</p>	<p>1pB-09</p> <p>細胞内局在の異なるシロイヌナズナ Ca²⁺/CaM 依存性 NAD キナーゼの機能解析 <u>坂口浩朗</u>¹, <u>児玉豊</u>², <u>石川寿樹</u>¹, <u>山口雅利</u>¹ ¹埼玉大・院理工, ²宇都宮大・バイオセンター)</p>	<p>1pC-09 ㊦</p> <p>Single-cell-resolved calcium and organelle dynamics in resistosome-mediated cell death <u>Yi-Feng Chen</u>¹, <u>Kuan-Yu Lin</u>¹, <u>Ching-Yi Huang</u>¹, <u>Liang-Yu Hou</u>¹, <u>Chin-Wen Chang</u>¹, <u>Enoch Lok Him Yuen</u>², <u>Wei-Che Sun</u>¹, <u>Bing-Jen Chiang</u>¹, <u>Hung-Yu Wang</u>¹, <u>Tolga Bozkurt</u>², <u>Chih-Hang Wu</u>¹ ¹IPMB, Academia Sinica, ²DoLS, Imperial College London)</p>	<p>1pD-09</p> <p>SD5 を介した U12 型スプライシングはシロイヌナズナの栄養応答性成長を制御する <u>石橋遼大</u>¹, <u>荒江星拓</u>¹, <u>吉積毅</u>², <u>松井南</u>³, <u>平山隆志</u>⁴, <u>大谷美沙都</u>^{1,3,5} ¹東京大・院・新領域, ²高崎健康福祉大・農学部, ³横浜市立大・木原生物学研究所, ⁴岡山大学・資源植物科学研究所, ⁵東京大・院・理学系)</p>
16:15	<p>1pA-10</p> <p>緑色植物におけるプラスチド ATP 合成酵素の機能及び制御機構の多様化 <u>村岡壮泰</u>¹, <u>熊沢稜</u>^{1,2}, <u>伊福健太郎</u>¹, <u>上妻馨梨</u>¹ ¹京大院・農, ²北大・低温研)</p>		<p>1pC-10</p> <p>シロイヌナズナにおいて防御応答活性化シグナルとして機能する植物由来 VOC の生理学的情報の解説 <u>山内靖雄</u>¹, <u>豊田正嗣</u>², <u>本庄三恵</u>³, <u>工藤洋</u>³, <u>水谷正治</u>¹, <u>杉本幸裕</u>¹, <u>高林純示</u>³ ¹神戸大院・農, ²埼玉大院・理工, ³京都大・生感研)</p>	<p>1pD-10</p> <p>二次的 siRNA 生成における SGS3 の N 末端領域の機能解析 <u>藤本祐司</u>¹, <u>櫻井友理希</u>¹, <u>古和田凌佑</u>^{1,2}, <u>庄司佳祐</u>³, <u>吉川学</u>⁴, <u>岩川弘宙</u>¹ ¹立教大・理, ²東大・院新領域・メディカル情報生命, ³東京農工大・院生物システム応用科学, ⁴農研機構)</p>
16:30	<p>1pA-11</p> <p>シロイヌナズナ <i>crr2-2 pgr5-5</i> 変異株の生育阻害は光化学系 I 電子供与体または電子受容体制御により回復する <u>植川友季</u>¹, <u>山本宏</u>², <u>鹿内利治</u>², <u>坂本亘</u>¹ ¹岡山大学・植物研, ²京都大学・理)</p>		<p>1pC-11</p> <p>アブシシン酸シグナルによる NPR1 依存的サリチル酸応答性免疫の活性化機構 <u>篠原百絵</u>¹, <u>本多璃奈</u>¹, <u>大畑怜未</u>¹, <u>堀尾宗正</u>¹, <u>森太志</u>¹, <u>野田沙希</u>¹, <u>高瀬緋奈乃</u>², <u>桑田啓子</u>³, <u>木下俊則</u>^{1,3}, <u>松下智直</u>⁴, <u>松林嘉克</u>¹, <u>梅澤泰史</u>², <u>野元美佳</u>^{1,5,6}, <u>多田安臣</u>^{1,5} ¹名古屋大・院理, ²農工大・院・BASE, ³名古屋大・ITbM, ⁴京大・院理, ⁵名古屋大・遺伝子, ⁶JST・さきがけ)</p>	
16:45	<p>1pA-12</p> <p>クラミドモナスにおける PGR1 と PGR5 の関係 <u>高橋拓子</u>¹, <u>佐藤鉄斗</u>², <u>伊藤優希</u>², <u>吉田啓亮</u>³, <u>植川友季</u>⁴, <u>得津隆太郎</u>⁵, <u>日原由香子</u>¹ ¹埼玉大学院・理工学研究科, ²埼玉大学・理学部・分子生物, ³東京科学大学・総合研究院・化学生命科学研究所, ⁴岡山大学・資源植物科学研究所, ⁵北里大学・獣医学部)</p>		<p>1pC-12 ㊦</p> <p>Decoding Long-Distance Immune Signaling of Chitin-Induced Systemic Resistance in Rice <u>Micah Lagat</u>¹, <u>Tomoyuki Furuta</u>¹, <u>Naoki Yamaji</u>¹, <u>Hironori Kaminaka</u>², <u>Hideki Nishimura</u>¹, <u>Yoji Kawano</u>¹ ¹Institute of Plant Science and Resources, Okayama University, Okayama, ²Faculty of Agriculture, Tottori University, Tottori, Japan)</p>	

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
発生・形態形成	バイオリソース	環境応答A / 生理反応	環境応答B / 環境ストレス				
<p>1pE-07 ゼニゴケにおける ROP GDP 解離阻害因子の機能解析 宮崎優¹, 林愛梨², 酒井友希¹, 中神弘史³, 守屋健太¹, 相原悠介¹, 深城英弘¹, 石崎公庸¹ (1神戸大・院・理, 2神戸大・理, 3MPIPZ)</p> <p>1pE-08 ㊦ A TONNEAU1-Recruiting Motif (TRM) protein is required for air chamber development in <i>Marchantia polymorpha</i> Ayana Sano¹, Airi Hayashi², Yuuki Sakai³, Kimitsune Ishizaki³, Yoh Sakuma¹, Hiroataka Kato¹ (1Grad. Sch. Sci. Eng., Ehime Univ., 2Fac. Sci., Kobe Univ., 3Grad. Sch. Sci., Kobe Univ.)</p> <p>1pE-09 ゼニゴケ CSI は気室の離生型細胞間隙形成を正に制御する 水谷未那¹, 井口勲人¹, 西浜竜一², 石崎公庸³, 河内孝之⁴, 出村拓¹ (1奈良先端大・バイオ, 2東京理科大・創域理工・生命生物, 3神戸大・院・理, 4京大・院・生命)</p> <p>1pE-10 ㊦ Evolutionary Dynamics of Small Peptide Signaling Systems in Liverworts Chihiro Furumizu^{1,2}, Mari Kondo², Kengo Matsushita² (1Inst. Agric. Life Sci., Academic Assembly, Shimane Univ., 2Fac. Life Environ. Sci., Shimane Univ.)</p> <p>1pE-11 ヒメツリガネゴケ <i>IDD5</i> による葉の形態形成機構の解析 山田蓮¹, 石川雅樹², 長谷部光泰², 木崎暁子¹ (1静岡大・院生物, 2基生研)</p> <p>1pE-12 ㊦ From ER Sheets to Shoots: Membrane Remodeling and Control in Moss Perna Singh^{1,2}, Tomomichi Fujita¹ (1Faculty of Science, Hokkaido University, 2Institute for the Advancement of Higher Education, Hokkaido University)</p>		<p>1pG-07 気孔 CO₂ 応答が植物の生育やストレス耐性へ及ぼす影響と環境依存性 中野皓稀¹, 佐藤伸哉², 加納圭子², 三城恵美², 木下俊則^{1,3}, 高橋洋平^{1,3} (1名古屋大・院・理, 2名古屋大・ITbM・分子構造センター, 3名古屋大・ITbM)</p>	<p>1pH-07 エタノール処理による植物の環境ストレス耐性の向上: <i>ADHI</i> 遺伝子の機能解析 川村亜綺^{1,4}, 戸高大輔¹, 松井章浩¹, 鳥居千恵子¹, 高橋直紀⁴, 関原明^{1,2,3,4} (1理研 CSRS・植物ゲノム発現研究チーム, 2横浜市立大・木原生研, 3埼玉大・院・理工, 4明治大・農)</p> <p>1pH-08 ゲノム編集によるコムギフルクタン分解酵素 <i>Wjh-sm3</i> 欠損株の創出とフルクタン蓄積が耐凍性に及ぼす効果の検証 竹元廣大¹, 佐々木健太郎¹, 川上顕², 今井亮三¹ (1農研機構・生物機能利用研究部門, 2農研機構・北海道農業研究センター)</p> <p>1pH-09 MRI によるツバキ花芽の凍結様式の可視化解析 石川雅也¹, 岩崎一馬², 初山直人², 柳生直泰², 藤田直人², 工藤舞泉¹, Mingyi Zu¹, 寺田康彦², 松下範久¹, 福田健二¹ (1東大・院農学生命科学, 2筑波大学大学院 理工情報生命学術院 応用理工学)</p> <p>1pH-10 シロイヌナズナにおける温度不感受性変異体 <i>aco3</i> の解明 姪元直¹, 竹内鈴², 多嘉良涼², 古本強^{1,2} (1龍谷大・院農学, 2龍谷大・農学部)</p> <p>1pH-11 シロイヌナズナ属において季節温度応答性を示す新規遺伝子 <i>STTP</i> の機能解析 守屋健太^{1,2}, 清水華子¹, 湯本原樹^{1,3}, 上原晋⁴, 杉阪次郎¹, 嶋田知生⁵, 得津隆太郎⁶, 相原悠介², 深城英弘², 野元美佳⁴, 松林嘉克⁷, 多田安臣⁴, 石崎公庸², 本庄三恵¹, 工藤洋¹ (1京大・生研, 2神戸大・院理, 3信州大・山岳研, 4名古屋大・遺伝子, 5京大・院理, 6北里大・獣医, 7名古屋大・院理)</p> <p>1pH-12 気温の日周変動経験によって生じるコムギの組織特異的なフルクタン応答 菊地拓真¹, Jan Felix Gehrke², 小竹敬久¹, 高橋大輔¹ (1埼玉大・院理工, 2ウルム大・生物)</p>	<p>X 会場 シンポジウムの04 Printing and Memory of Plants in Facing Environmental Changes (14:00-17:00)</p>	<p>Y 会場 シンポジウムの05 Advances in Cellular and Molecular Signaling in Response to Internal and External Stimuli from Algae to Plants (14:00-17:00)</p>	<p>Z 会場 シンポジウムの06 Underlying molecular antagonisms as drivers of plant diversification and ecological adaption (14:00-17:00)</p>	<p>15:30</p> <p>15:45</p> <p>16:00</p> <p>16:15</p> <p>16:30</p> <p>16:45</p>

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月14日(土) 午前(9:00-12:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	細胞壁	植物生物間相互作用A	オルガネラ / 細胞骨格 / 細胞内膜系
09:00	<p>2aA-01 リステタンパク質変異による Photosynthetic control の段階的制御変異株 小澤真一郎¹, Felix Buchert², Michael Hippler^{1,2} (¹岡山大学資源植物科学研究所, ²IPBB, ミュンスター大学)</p>	<p>2aB-01 ㊦ Molecular Characterization and Structural Insights of <i>SiCAD1</i> Gene in Indonesian Foxtail Millet (<i>Setaria italica</i>) Sintho Wahyuning Ardie¹, M Reza Pahlevi², Ramadaniarto Rizqullah², Daisuke Tsugama³ (¹Department of Agronomy and Horticulture, Faculty of Agriculture, IPB University, Indonesia, ²Plant Breeding and Biotechnology Study Program, Graduate School, IPB University, Indonesia, ³Asian Research Center for Bioresource and Environmental Sciences (ARC-BRES), Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, Japan)</p>	<p>2aC-01 ブドウベト病菌 <i>Plasmopara viticola</i> に対する気孔免疫の解析 三俣好全¹, 郑伟¹, 张雪楠¹, 张尧^{1,2}, 叶文秀¹(¹北京大・現代農業研究院, ²青島農業大・生命科学)</p>	<p>2aD-01 シロイヌナズナ孔辺細胞における非光合成系葉緑体タンパク質輸送体 TOC132 の機能解析 豊村凌佐, 宋普錫, 山崎将, 西村さくら, 成松丈, 射場厚, 称宜淳太郎(九州大・院・理)</p>
09:15	<p>2aA-02 ㊦ Cytochrome <i>b_f</i> influences linear electron flow through lateral distribution and modulates STT7 activity via a phosphorylation feedback loop Michael Hippler^{1,3}, Afifa Zaeem¹, Davide Tamborini², Martin Scholz¹, Wojciech Wietrzyński², Markus Schwarzländer¹, Shin-Ichiro Ozawa³, Ben Engel², Felix Buchert¹ (¹Institute of Plant Biology and Biotechnology, University of Münster, 48143 Münster, Germany, ²Biozentrum, University of Basel, Spitalstrasse 41, 4056 Basel, Switzerland., ³Institute of Plant Science and Resources, Okayama University, Kurashiki, Japan)</p>	<p>2aB-02 原生木部道管二次壁パターン形成における微小管プラスチド制御の重要性 冢門絵理¹, Ya Ma², 米田新³, 出村拓^{3,4}, 大谷美沙都^{2,3,4,5}(¹立命館大・生命, ²東大・新領域, ³奈良先端大・バイオ, ⁴理研-CSRS, ⁵東大・理)</p>	<p>2aC-02 ㊦ Cell death-mediated plant immunity against hemibiotrophic fungal pathogen infection Katsuma Yonehara^{1,2}, Naoyoshi Kumakura¹, Benjamin Cole³, Hatsune Morinaka¹, Ayako Kawamura¹, Akira Iwase¹, Keiko Sugimoto¹, Dongbo Shi^{1,5}, Gitta Coaker⁴, Ken Shirasu^{1,2} (¹CSRS, RIKEN, Japan, ²Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, Japan, ³DOE JGI, Lawrence Berkeley Natl. Lab., USA, ⁴Dept. Plant Pathol., Univ. California, USA, ⁵Inst. Pioneering Research, RIKEN, Japan)</p>	<p>2aD-02 孔辺細胞における CO₂ 依存的なデンプン顆粒分解反応の動態解析及びその制御因子の探索 本田智海, 大隈玲央奈, 成松丈, 射場厚, 称宜淳太郎(九州大・院・理)</p>
09:30	<p>2aA-03 <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 における HCO₃⁻ 輸送活性の低温応答 高谷信之, 小俣達男, 愛知真木子(中部大・応用生物)</p>	<p>2aB-03 ㊦ Mechanical adaptation of <i>A. thaliana</i> root to sucrose supply Liyu Deng¹, Yunshu Wang², Yuta Nakagawa³, Andres Aguilar Ariza², Tomomichi Fujita⁴, Shumpei Hayashi⁵, Akihiro Isozaki³, Keisuke Goda^{3,6,7}, Hirotaka Hida³, Toru Fujiwara², Marcel Beier⁸(¹Grad. Sch. Life Science, Hokkaido University, ²Dep. Appl. Biol. Chem., Grad. Sch. Agri. Life Sci., The University of Tokyo, ³Dep. Chem, Grad. Sch. Sci, The University of Tokyo, ⁴Fac. Sci. Hokkaido University, ⁵Dep. Mech. Eng., Grad. Sch. Kobe University, ⁶Dep. Bioeng. Samuelli Sch Eng. University of California, ⁷Inst. Tech. Sci., Wuhan University, ⁸SPMDR Unit, FREI)</p>	<p>2aC-03 ㊦ A novel polyketide biosynthetic enzyme complex produces dihydroxyhexanoic acid and regulates turgor pressure in appressoria Naoyoshi Kumakura¹, Takayuki Motoyama¹, Keisuke Miyazawa^{2,3}, Toshihiko Nogawa¹, Katsuma Yonehara^{1,4}, Kaori Sakai⁵, Nobuaki Ishihama¹, Kaisei Matsumori^{3,4}, Pamela Gan¹, Hiroyuki Koshino¹, Takeshi Fukuma^{2,3}, Richard O'Connell⁵, Ken Shirasu^{1,4}(¹RIKEN CSRS, ²Inst. Sci. Eng., Kanazawa Univ., ³WPI-NanoLSI, Kanazawa Univ., ⁴Grad. Sch. Sci., Tokyo Univ., ⁵Univ. Paris-Saclay, INRAE)</p>	<p>2aD-03 miRNA 経路はクラミドモナスにおける母性葉緑体 DNA 遺伝を制御する 西山喜之, 松本佳奈, 山崎朋人(高知大・理工)</p>
09:45	<p>2aA-04 光合成酸素発生速度と光合成電子伝達速度の解析による水陸両生植物 <i>Hygrophila difformis</i> における CO₂-concentrating mechanism の評価 堀口元気¹, 野口航²(¹東京農工大・農学, ²東京薬科大・生命)</p>	<p>2aB-04 シロイヌナズナ TPFLA タンパク質の構造とエキシン形成における機能 熊澤華歩¹, 西原誠也¹, 鍋田紗紀¹, 上木望路¹, 土田航平¹, 國枝正², 上田晴子³, 石黒澄衛¹(¹名大・生命農, ²奈良先端大・バイオサイエンス, ³甲南大・理工)</p>	<p>2aC-04 ㊦ Transcriptomic Insights into Broad-Spectrum Resistance of Luffa to Field-Isolated Fusarium Wilt Isolates in Taiwan Yu-Xuan Jiang¹, Che-Han Chu¹, Wen-Hsin Chung², Shu-Yun Chen¹(¹Department of Agronomy, Nantional Chung Hsing University, Taiwan, ²Department of Plant Pathology, Nantional Chung Hsing University, Taiwan)</p>	<p>2aD-04 ppGpp の蓄積量の違いが、植物における転写・代謝の再プログラミングを介して、生育の違いを引き起こす 根本岳忠¹, 尾亦雄斗¹, 迫田和馬², 小嶋美紀子³, 榎原均^{3,4}, 及川彰^{3,5}, 今村壮輔², 増田真二¹(¹東京科学大学・生命理工, ²NTT株式会社 宇宙環境エネルギー研究所, ³理研, CSRS, ⁴名大・院・生命農学, ⁵京大・院・農学)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
発生・形態形成	生殖	環境応答A / 生理反応	環境応答B / 環境ストレス				
<p>2aE-01 ㊦ The Arabidopsis AN-GRF module governs body plan establishment through organ boundary control Ryoka Tsuru¹, Hirokazu Tsukaya², Gorou Horiguchi^{1,3} (1Dept. Biol., Coll. Sci., Rikkyo Univ., 2Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, 3Cent. Life Sci., Coll. Sci., Rikkyo Univ.)</p> <p>2aE-02 TCP 転写因子がアポプラスト酸性化を促進して細胞伸長を駆動する 小山知嗣¹, 國枝正^{2,3}, 豊永宏美¹, 延原美香¹, 光田展隆⁴, 曾我康一⁵, 石田順子⁶, 関原明⁶, 高橋宏二^{7,8}, 木下俊則^{7,8}, 別所歩武², 出村拓^{2,3}, 高木優⁹ (1(公財)サントリー生命科学財団・生有研, 2奈良先端大・バイオサイエンス, 3奈良先端大・デジタルグリーンイノベーションセンター, 4産総研・バイオものづくり研究センター, 5大阪公立大・院理学, 6理化学研究所・環境資源科学研究センター, 7名古屋大・院理学, 8名古屋大・トランスフォーマティブ生命分子研究所, 9National Cheng Kung University, College of Bioscience and Biotechnology)</p> <p>2aE-03 ㊦ Investigation of the molecular mechanisms of Arabidopsis petiole formation based on RNA-seq Yujie Zhao, Hokuto Nakayama, Hirokazu Tsukaya (Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)</p> <p>2aE-04 ㊦ Inferring cell division events from cell geometry: A revision of classical cell division rules Zining Wang¹, Yujie Zhao¹, Yasuhiro Inoue², Atsushi Mochizuki³, Hirokazu Tsukaya¹ (1Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, 2Dept. Micro Eng., Kyoto Univ., 3Inst. Front. Life Med. Sci., Kyoto Univ.)</p>	<p>2aF-01 寄生植物ネナシカズラの花成における宿主同調性と自律的制御の分子機構 高川仁起¹, 横山俊哉², 浅岡真理子², 西谷和彦², 阿部光知³, 横山隆亮¹ (1東北大・院・生命科学, 2神奈川大・理, 3東京大・院総合文化)</p> <p>2aF-02 シロイヌナズナの蜜腺発達における MACCHI-BOU4 遺伝子の転写制御 太田慶介, 山口暢俊, 伊藤寿朗 (奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科)</p> <p>2aF-03 EIN3-ORE1 経路を介したエチレンによる花弁脱離制御機構の解明 古田優生, 山口暢俊, 伊藤寿朗 (奈良先端大・バイオ)</p> <p>2aF-04 シロイヌナズナにおける種間生殖障壁に関連した雌しべ側因子の機能解析 楢浦司¹, 加藤義宣¹, 白澤健太², 森桂代¹, 高山誠司¹, 藤井壮太^{1,3} (1東大院・農生, 2かざりDNA研究所, 3サントリー SunRise)</p>	<p>2aG-01 並列グロースチャンパーシステムを用いた様々な環境条件下におけるイソプレノール放出の体系的測定 李俊男¹, 関本奏子², 福山大輔², 齊藤拓也³, 永野惇^{4,5} (1龍大・農, 2横浜市立大・理, 3国環研・地球システム領域, 4名古屋大・生物機能開発利用研究センター, 5慶應大・先端生命科学研究所)</p> <p>2aG-02 ㊦ Mobile Glutamate Activates GLUTAMATE RECEPTOR-LIKE Channels to Orchestrate Systemic Wound Signals Rimsha Ishaq¹, Gen Hirohara¹, Takuma Hagihara¹, Keitaro Tanoi^{2,3}, Masatsugu Toyota^{1,4,5} (1Dept. Biochem. Mol. Biol., Saitama Univ., 2Grad. Sch. Agric. Life Sci., Univ. Tokyo, 3F-REI, 4SunRiSE, Suntory Fdn. Life Sci., 5Coll. Plant Sci. Technol., Huazhong Agric. Univ.)</p> <p>2aG-03 食虫植物モウセンゴケの活動電位を介した捕虫運動の分子メカニズム 瀬上紹嗣^{1,2}, 落合由裕², Peng Chen², Hui Liu², 松田陸秋³, Liechi Zhang¹, 大井祥子¹, 須田啓⁴, 豊田正嗣⁴, 長谷部光泰^{1,2} (1基生研, 2総研大・基礎生物, 3名古屋大・院理学, 4埼玉大・院理工学)</p> <p>2aG-04 <i>glabrous1</i> は風化促進による生長促進効果の制御因子である 上田実¹, 戸高大輔¹, 高橋聡史¹, 石田順子¹, 田中真帆¹, 池田時浩², 鈴木恵子³, 三輪美沙⁴, 内山剛志⁵, 石丸泰寛⁵, 佐山和弘⁶, 魚信之⁵, 松山成男⁴, 永野惇^{7,8}, 菊野日出彦⁹, 関原明^{1,10,11} (1理研CSRS, 2理研仁科センター, 3理研CEMS, 4東北大・院工・量子, 5東北大・院工・バイオ工学, 6産総研GZR, 7名大・生物機能センター, 8慶應大・IAB, 9東京農大宮古亜熱帯農場, 10横浜市大・木原生研, 11埼玉大・院理工)</p>	<p>2aH-01 無人フェノタイプピングによる野生イネの干ばつ適応機構の解明 相馬史幸¹, 川原善浩², 七ヶ高也³, 林篤司⁴, 木富悠花¹, 高地伸夫⁴, 山本英司¹, 田中伸裕¹, 根岸美智哉⁴, 徳田献一⁴, 坂井寛章², 宇賀優作¹ (1農研機構・作物研究部大・農研機構・高度分析研究センター, 2かざりDNA研究所, 4農研機構・農業ロボット研究センター)</p> <p>2aH-02 水陸両生植物 <i>Rorippa aquatica</i> の水没下でのガス交換を支えるクチクラ可塑性 池松朱夏¹, 辻野建貴¹, 南井啓太¹, 嶋田叶夢¹, 坂本智昭¹, 信澤岳², 木村成介¹ (1京産大 生命科学, 2広島大・院統合生命科学)</p> <p>2aH-03 ㊦ The Conservation of ETR-HK-B3-Raf-SnRK2 Signaling Framework in Algae Uncovers Drought Resilience Mechanisms that Enabled the Transition from Aquatic to Terrestrial Habitats Mohammed Arif Sadik Polash^{1,2}, Yuto Yamazaki¹, Hideo Kimura¹, Md. Masudul Karim^{1,3}, Koichi Hori⁴, Hiroyuki Ohta⁴, Jun Minagawa⁵, Hidetoshi Sakayama⁶, Tomoaki Nishiyama⁷, Yoichi Sakata⁸, Daisuke Takezawa¹ (1Graduate School of Science and Engineering, Saitama University, Shimo-ohkubo 255, Sakura-ku, Saitama, 338-8570, Japan, 2Department of Crop Botany, Khulna Agricultural University, Khulna-9202, Bangladesh, 3Department of Crop Botany, Bangladesh Agricultural University, Mymensingh-2202, Bangladesh, 4School of Life Science and Technology, Institute of Science Tokyo, 2 Chome-12-1, Ookayama, Meguro City, Tokyo, 152-8550, Japan, 5National Institute of Basic Biology, 38 Nishigokana Myodajji, Okazaki, 444-8585, Japan, 6Graduate School of Science, Kobe University, 1-1, Rokkodai-Cho, Nada-ku, Kobe, 657-8501, Japan, 7School of Science, University of Toyama, 2630, Sugitani, Toyama-Shi, Toyama, 930-0194, Japan, 8Department of Bioscience, Tokyo University of Agriculture, 1-1-1 Sakuragaoka, Setagaya-ku, Tokyo 156-8502, Japan)</p> <p>2aH-04 シロイヌナズナ DMP1 は細胞外小胞を介して乾燥応答での長距離シグナルを制御する 太谷晴香¹, 井上和奏¹, 菊地美帆², 佐藤蘭子³, 豊岡公德³, 鈴木健裕³, 堂前直³, 高橋史憲^{1,2} (1東京理科大・院先進工, 2東京理科大・先進工, 3理研・CSRS)</p>	シンポジウムの紹介 Frontiers in Plant Science Revealed by Space Environments: From Molecular Mechanisms to Future Horizons (9:00-12:00)	シンポジウムの紹介 Nuclear Architecture as a Scaffold: Structural Views on Gene Regulation and Cellular Function in Plants and Beyond (9:00-12:00)	シンポジウムの紹介 植物の構造とシグナルの非対称性 (9:00-12:00)	09:00
							09:15
							09:30
							09:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月14日(土) 午前(9:00-12:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	細胞壁	植物生物間相互作用A	オルガネラ / 細胞骨格 / 細胞内膜系
10:00	2aA-05 一葉植物モノフィレアの子葉の運命決定における光合成の役割 中村駿志 ¹ , 相馬愛 ² , 田野井慶太郎 ² , 塚谷裕一 ¹ (¹ 東京大・院・理, ² 東京大・院・農)	2aB-05 ㊦ In situ cell wall-cuticle continuum analysis of intact <i>Arabidopsis thaliana</i> organs with attenuated total reflection Fourier transform infrared microspectroscopy Hidemasa Teraoka ¹ , Shota Saito ¹ , Naoki Numadate ² , Yoshimi Oshima ³ (¹ Grad. Sch. Arts & Sci., Univ. Tokyo, ² Inst. Pure & Applied Sci., Tsukuba Univ., ³ Biomufacturing Process Res. Cent., AIST)	2aC-05 ㊦ Breaking Defenses: Unraveling Effector Diversity in Wheat Leaf Rust Ankita Shree, Priyanka Kumari, Hasnain Raghīb Hassan, Manish Kumar, Kunal Mukhopadhyay (Birla Institute of Technology)	2aD-05 葉緑体の機械受容チャネル MSL2 は孔辺細胞葉緑体の浸透圧調節に関わる 山花美穂 ¹ , 東垣温 ¹ , 田中智佳子 ¹ , 山崎加奈子 ¹ , 石崎陽子 ¹ , 坂本勇貴 ² , 椎名隆 ¹ (¹ 摂南大・院農, ² 信州大・理)
10:15	2aA-06 海洋性珪藻 <i>Phaeodactylum tricornutum</i> の新規 PyShell 構成因子の機能解析 豊島正和 ¹ , 嶋川銀河 ² , 松田祐介 ¹ (¹ 関西学院大・生環境, ² 神戸大・院農)	2aB-06 MYB16 発現植物における細胞壁-クチクラ連続体の構造変化: 化学構造解析とトランスクリプトーム解析 大島良美 ^{1,2} , 羽馬哲也 ³ , 谷口創 ³ , 瀧口裕子 ¹ , 坂本真吾 ¹ , 津山濯 ^{1,4} , 菅野茂夫 ¹ , 光田展隆 ¹ (¹ 産総研・バイオものづくり, ² 科学技術振興機構・さきかけ, ³ 東大院・総合文化, ⁴ 宮崎大・農学部)	2aC-06 ㊦ Identification and characterization of the effector for the paired NLRs Pit1 and Pit2 Alfino Sebastian ¹ , Motoki Shimizu ² , Nobuko Yasuda ³ , Ryohei Terauchi ⁴ , Fumi Fukada ¹ , Yoji Kawano ¹ (¹ Institute of Plant Science and Resources, Okayama University, Japan, ² Iwate Biotechnology Research Center, Japan, ³ National Agriculture and Food Research Organization, Japan, ⁴ Laboratory of Crop Evolution, Kyoto University, Japan)	2aD-06 チラコイド膜脂質合成は葉緑体の光合成関連遺伝子の発現にどのように関与するのか 野戸康生 ¹ , 上床理紗 ² , 萩原侑輝 ¹ , 新井田悟 ³ , 山田くるみ ³ , 高林厚史 ⁴ , 小林康一 ⁵ , 永田典子 ² , 藤井祥 ^{1,3} (¹ 弘前大・院農学生命, ² 日本女子大・院理, ³ 弘前大・農学生命, ⁴ 北大・低温研, ⁵ 大阪大・国際基幹教育)
10:30	2aA-07 海洋性珪藻 <i>Phaeodactylum tricornutum</i> の bestrophin の局在と機能 丹羽賢治, 仁岸みのり, 松田祐介 (¹ 関学大・院理工)	2aB-07 細胞形態形成に基づくイネ茎の洪水耐性機構の組織化学的解析 森孝介 ¹ , 伊藤里緒 ² , 芦刈基行 ³ , 永井啓祐 ³ (¹ 名大・院生農農学, ² 名大・農, ³ 名大・生物セ)	2aC-07 ㊦ Neofunctionalization of the RGF peptide signaling pathway drives haustorial organogenesis in parasitic plants Max Fishman ¹ , Anne Greifenhagen ¹ , Takanori Wakatake ¹ , Anuphon Laohavisit ¹ , Ryoko Hiroyama ¹ , Sachiko Masuda ¹ , Arisa Shibata ¹ , Satoko Yoshida ² , Ken Shirasu ^{1,3} (¹ RIKEN, Center for Sustainable Resource Science, ² Nara Institute of Science and Technology, ³ Graduate School of Science, University of Tokyo)	2aD-07 エチオプラスト-葉緑体分化における酸性リン脂質 PG および酸性糖脂質 SQDG の役割 吉原晶子 ¹ , 上床理紗 ² , 小林啓子 ² , 永田典子 ² , 小林康一 ¹ (¹ 大阪大・院理, ² 日本女子大・理学)
10:45	2aA-08 海洋性珪藻 <i>Phaeodactylum tricornutum</i> における葉緑体 HCO ₃ ⁻ 輸送体候補 PtSLC4-6 および PtSLC4-7 の機能解析 二宮水由羽, 中島健介, Nawaly Hermanus, 松田祐介 (¹ 関学大・院理工・生物科学)	2aB-08 ㊦ Glycosylation-dependent sorting of an arabinogalactan protein SLEEPING BEAUTY mediates apical tip growth in <i>Physcomitrium patens</i> Chao-Yuan Yu ¹ , Manju Maharjan ² , Chao-Hsi Liu ³ , Ooi-Kock Teh ¹ (¹ Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, ² Department of Plant Physiology, Umeå Plant Science Centre, Umeå University, ³ Department of Environmental Engineering, National Cheng Kung University)	2aC-08 土壌糸状菌類の窒素応答・色素沈着に対するストリゴラクトンの影響 杉之尾信吾 ¹ , 加藤直樹 ² , 長田裕之 ³ , 土屋雄一郎 ^{1,4} (¹ 名大・院理, ² 摂南大・農, ³ 理研・CSRS, ⁴ 名大・ITbM)	2aD-08 シロイヌナズナの成長制御におけるシアノバクテリア FTN2 とシロイヌナズナ ARC6 の機能的互換性 小林航太 ¹ , 宇都倭汰 ¹ , 稲葉靖子 ^{1,2} , 稲葉丈人 ¹ (¹ 宮崎大・農, ² 東北大院・生命)
11:00	2aA-09 ビレノイド型炭酸脱水酵素の Sorting 機構 永松理歩 ¹ , 嶋川銀河 ² , 松田祐介 ¹ (¹ 関学大・院理工, ² 神戸大・院農)	2aB-09 ㊦ Identification of Putative Cell Wall Sensors in <i>Physcomitrium patens</i> Chin-Lien Tseng (Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica)	2aC-09 有益糸状菌トリコデルマの根内定着によりシロイヌナズナで発現する誘導全身抵抗性 ISR には細胞壁完全性の擾乱が関与する 酒井彩衣 ¹ , 津瀬鹿愛花 ² , 大澤薫 ² , 高木桃子 ^{2,3} , 上中弘典 ² (¹ 鳥取大・連農, ² 鳥取大・農, ³ 東大・院総合文化)	2aD-09 TGN 局在型 SNARE である SYP4 が制御する葉緑体機能 田浦愛美 ¹ , 伊藤容子 ² , 矢守航 ³ , 永田典子 ⁴ , 植村知博 ^{1,2,5} (¹ お茶大・院ライフサイエンス, ² お茶大・ヒューマンライフ, ³ 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属生態調和農学機構, ⁴ 日本女子大理学部物質生物科学科, ⁵ お茶大基幹研究院自然科学系)
11:15	2aA-10 NADP-ME 型 C4 植物でリンゴ酸輸送体として機能する Bass4 タンパク質の同定 横江倫 ¹ , 東采佳 ² , 伊賀楓花 ² , 古本強 ^{1,2} (¹ 龍谷大・院農, ² 龍谷大・農)	2aB-10 ㊦ A putative cell wall integrity sensor coordinates cell cycle progression in <i>Physcomitrium patens</i> Ooi-Kock Teh, Yadav Bal Govind (Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica)	2aC-10 根圏常在細菌は細胞外ペプチダーゼを分泌して免疫誘導性ペプチドを分解する 稲垣裕介 ¹ , 鳥崎智久 ¹ , Ulla Neumann ² , 牧野由美子 ³ , 森友子 ³ , Sara Christina Stolze ⁴ , 中神弘史 ⁴ , 吉田拓也 ^{3,5} , 中野亮平 ^{1,4} (¹ 北海道大学・院理, ² CeMic, MPIPZ, ³ 基生研・トランスオミクス解析室, ⁴ MPIPZ, ⁵ 総研大・基礎生物学コース)	2aD-10 Cyanidioschyzon merolae における bZIP 型転写因子の役割 齋藤遼 ¹ , 田中寛 ² , 岡島俊英 ³ , 華岡光正 ^{1,4,5} (¹ 千葉大・院園芸・応用生命, ² 東工大・化生研, ³ 阪大・産研, ⁴ 千葉大・植物分子科学研究セ, ⁵ 千葉大・宇宙園芸研究セ)

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
発生・形態形成	生殖	環境応答A / 生理反応	環境応答B / 環境ストレス				
<p>2aE-05 表皮において生成される極長鎖脂肪酸関連物質を介した非細胞自発的な器官成長調節機構 信澤岳¹, 加藤壮英², 梅田正明², 森田(寺尾)美代³, 草場信¹(¹広島大・院統合生命,²奈良先端大・先端科学技術,³自然科学研究機構・基生研)</p>	<p>2aF-05 シロイヌナズナの受精前障壁における雌しべ側因子と相互作用する花粉側因子の同定 平野和喜¹, 三浦大樹¹, 長江拓也², 高山誠司¹, 藤井壮太^{1,3}(¹東大・院農,²理研・CSRS,³サントリー-SunRISE)</p>	<p>2aG-05 新奇な時計周期短縮化合物の解析 藤川光衣¹, 山口潤一郎², 松尾宏美¹, 中道範人¹(¹名古屋大学大学院生命農学研究科,²早稲田大学理工学術院)</p>	<p>2aH-05 ㊦ Improving drought stress tolerance of cotton by using ethanol application Farhan Aziz^{1,2}, Daisuke Todaka¹, Maho Tanaka¹, Satoshi Takahashi¹, Khurram Bashir^{1,2}, Motoaki Seki^{1,3,4}(¹Plant Genomic Network Research Team, RIKEN Center for Sustainable Resource Science, 1-7-22 Suehiro-cho, Tsurumi-ku, Yokohama, Kanagawa 230-0045, Japan, ²Department of Life Sciences, Lahore University of Management Sciences, DHA Phase 5, Lahore 54792, Pakistan, ³Kihara Institute for Biological Research, Yokohama City University, 641-12 Maioka-cho, Totsuka-ku, Yokohama, Kanagawa 244-0813, Japan, ⁴Graduate School of Science and Engineering, Saitama University, Saitama, Saitama, 338-8570, Japan)</p>	シンポジウムのオー Frontiers in Plant Science Revealed by Space Environments: From Molecular Mechanisms to Future Horizons (9:00-12:00)	シンポジウムのオー Nuclear Architecture as a Scaffold: Structural Views on Gene Regulation and Cellular Function in Plants and Beyond (9:00-12:00)	シンポジウムSO9 植物の構造とシグナルの非対称性 (9:00-12:00)	10:00
<p>2aE-06 表皮細胞分化とマスター転写因子の活性抑制 高田忍¹, 吉田彩香¹, 飯田浩行^{1,2}(¹大阪大学・理学部・生物,²ヘルシンキ大学生物環境科学部)</p>	<p>2aF-06 ㊦ A Novel Arabidopsis Protein, POT1, Plays an Important Role in Maintaining the Integrity of Pollen Tubes Natalia Julia Rzepecka¹, Yoko Ito³, Emi Ito^{3,4,5}, Tomohiro Uemura²(¹Faculty of Core Research, Ochanomizu Univ., ²Graduate School of Humanities and Sciences, Ochanomizu Univ., ³Institute for Human Life Sciences, Ochanomizu Univ., ⁴Division of Cellular Dynamics, NIBB, ⁵Basic Biology Program, Graduate Institute for Advanced Studies, SOKENDAI)</p>	<p>2aG-06 CKL 遺伝子群は高温下での時計の周期長調節に関わる 中道範人, 山田麻祐子, 松尾宏美, 前田明里, 村中智明(名古屋大・院生命農)</p>	<p>2aH-06 新規の気孔開口阻害剤を用いた光による気孔開口のシグナル伝達経路の解析と植物への乾燥耐性付与 幸洗徹¹, 相原悠介^{2,3}, 深津孝平¹, 藤茂雄⁴, 村上慧⁵, 林優紀¹, 佐藤綾人^{2,6}, 木下俊則^{1,2}(¹名古屋大・院理学,²名古屋大・WPI-ITbM,³神戸大・院理学,⁴名城大・農学,⁵関西学院大・理学,⁶名古屋大・COMIT)</p>				10:15
<p>2aE-07 HD-ZIP IV 型転写因子による葉表皮細胞運命のバランス制御機構の解析 永田賢司¹, 宮下貴文², 岩元明敏^{2,3}, 高橋草⁴, 阿部光知¹(¹東大・院総合文化,²神奈川大・院理,³神奈川大・理・生物,⁴岡山山大・院自然科学)</p>	<p>2aF-07 シロイヌナズナの精細胞が示すカルシウムスパイクの解析 石田大悟¹, 核直也^{1,2}, 元村一基¹, 海老根一生⁴, 須崎大地^{1,5}, 丸山大輔¹(¹横浜市大・木原生研,²IRDP・ENS-Lyon,³立命館大・総研,⁴埼玉大・院理工,⁵静岡大・理)</p>	<p>2aG-07 低酸素によって誘導されるアブラナ葉の萎れ回復における根の重要性の調査 高橋奈津美¹, 横内望美¹, 高橋宏和², 中園幹生², 伊澤かなな¹, 中村進一¹(¹東農大・バイオ,²名大院・生命農)</p>	<p>2aH-07 低酸素によって誘導されるアブラナ葉の萎れ回復における根の重要性の調査 高橋奈津美¹, 横内望美¹, 高橋宏和², 中園幹生², 伊澤かなな¹, 中村進一¹(¹東農大・バイオ,²名大院・生命農)</p>				10:30
<p>2aE-08 ㊦ Submergence-Induced Epidermal Cell Chloroplasts Differentiation in <i>Rorippa aquatica</i> Dwi Fajar Sidhiq¹, Shuka Ikematsu^{2,3}, Tomoaki Sakamoto^{2,3}, Seisuke Kimura^{2,3}(¹Grad. Sch. of Life Sci. Kyoto Sangyo Univ., ²Fac. Life Sci., Kyoto Sangyo Univ., ³Center for Plant Sci., Kyoto Sangyo Univ.)</p>	<p>2aF-08 ゼニゴケにおける複数の CNBD を持つ cAMP 受容体 CRMC の機能解析 岩淵蘭々¹, 中神元希¹, 山本千愛¹, 古谷朋之², 高橋文雄³, 笠原賢洋¹(¹立命館大・院・生命,²大阪大・院・理,³東邦大・薬)</p>	<p>2aG-08 ゼニゴケの精子走化性における電位依存性 Ca²⁺チャネルホモログ遺伝子 MpVCSPER1 の機能解析 森田瑞生¹, 末次憲之², 河内孝之³, 十川大輔⁴, 大和勝幸⁴(¹近畿大・院生物理工,²東大・院総合文化,³京都大・院生命科学,⁴近畿大・生物理工)</p>	<p>2aH-08 イネ根における低酸素誘導性の通気組織形成領域の ABA 応答活性解析 小島百登, 篠澤章久, 伊澤かなな, 中村進一(東農大・院・バイオ)</p>				10:45
<p>2aE-09 完全水生植物チシマミズハコベにおける陸生形質の潜在的保持・喪失と水中適応のゲノム基盤 溝口大樹, 古賀皓之, 塚谷裕一(東大・院・理)</p>	<p>2aF-09 ゼニゴケの精子走化性における電位依存性 Ca²⁺チャネルホモログ遺伝子 MpVCSPER1 の機能解析 森田瑞生¹, 末次憲之², 河内孝之³, 十川大輔⁴, 大和勝幸⁴(¹近畿大・院生物理工,²東大・院総合文化,³京都大・院生命科学,⁴近畿大・生物理工)</p>	<p>2aG-09 アブラナにおいて低酸素処理により萎れた葉の回復には ABA が関与する 篠澤章久¹, 横内望美¹, 高橋宏和², 中園幹生², 伊澤かなな¹, 中村進一¹(¹東農大・バイオ,²名大院・生命農)</p>	<p>2aH-09 アブラナにおいて低酸素処理により萎れた葉の回復には ABA が関与する 篠澤章久¹, 横内望美¹, 高橋宏和², 中園幹生², 伊澤かなな¹, 中村進一¹(¹東農大・バイオ,²名大院・生命農)</p>				11:00
<p>2aE-10 葉肉細胞から道管細胞への分化転換における核小体の発達とその要因 玉木泰哉¹, 森川龍², 米倉崇晃², 鳥津舜治³, 近藤侑貴³, 杉山宗隆²(¹東京大・理・生物,²東京大・院・理・生物科学,³大阪大・院・理・生物科学)</p>	<p>2aF-10 REAP1/SWAP70 を介した RAB5-ROP クロストークによる雄性配偶体発生制御 伊藤瑛海^{1,2,3}, ジェベツカ ナタリア⁴, 伊藤容子³, 平野朋子⁵, 海老根一生⁶, 小田祥久⁷, 佐藤雅彦⁸, 中野明彦^{8,9}, 植村知博^{8,10}, 上田貴志^{1,2}(¹基生研・細胞動態,²総研大・基礎生物,³お茶大・ヒューマンライフ,⁴お茶大・基幹研究院,⁵京都府立大学・生命環境,⁶埼玉大・院理工,⁷名古屋大・理・生命,⁸東京科学大・総合研究院,⁹理研・光子工学,¹⁰お茶大・院ライフサイエンス)</p>	<p>2aG-10 低酸素処理によるアブラナの不定根形成におけるエチレンの役割調査 松本直樹¹, 横内望美¹, 高橋宏和², 中園幹生², 伊澤かなな¹, 中村進一¹, 篠澤章久¹(¹東農大・院・バイオ,²名大院・生命農)</p>	<p>2aH-10 低酸素処理によるアブラナの不定根形成におけるエチレンの役割調査 松本直樹¹, 横内望美¹, 高橋宏和², 中園幹生², 伊澤かなな¹, 中村進一¹, 篠澤章久¹(¹東農大・院・バイオ,²名大院・生命農)</p>				11:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月14日(土) 午前(9:00-12:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	細胞壁	植物生物間相互作用A	オルガネラ / 細胞骨格 / 細胞内膜系
11:30	<p>2aA-11 シロイヌナズナは葉緑体外のグルタミン合成酵素でも光呼吸が駆動する 和田慎也¹, 佐藤勇斗², 石山敬貴¹, 丸田隆典³, 牧野周¹, 石田宏幸¹, 三宅親弘²(¹東北大・院農, ²神戸大・院農, ³鳥根大・院自然科学)</p>	<p>2aB-11 ㊦ Divergent plasmodesmata targeting mechanisms between <i>Marchantia polymorpha</i> and <i>Nicotiana benthamiana</i> Kuan-Ju Lu^{1,4}, Ta Thi Thuy Lihn¹, Hui-Yu Chang¹, Sumanth Mutte^{2,3}, Shiuan-Jie Tsai¹, Yun-Zhen Li¹(¹Graduate Institute of Biotechnology, National Chung Hsing University, Taiwan, R.O.C., ²MyGen Informatics Private Limited, India, ³MyGen Informatics VOF, Netherlands, ⁴Advanced Plant and Food Crop Biotechnology Center, National Chung Hsing University, Taiwan, R. O. C.)</p>	<p>2aC-11 ㊦ Bacterial methionine metabolism plays a role in root-commensal interactions Fiqih Ramadhan¹, Zoe Prockl¹, Jana Hucklenbroich², Silvina Perin², Tomohisa Shimasaki¹, Ryohei Thomas Nakano^{1,2}(¹Fac of Sci, Hokkaido Univ, ²MPIPZ)</p>	<p>2aD-11 シロイヌナズナの根における非光合成色素体の機能制御の解明を目指して 藤井達¹, 岩瀬哲², 永田典子³, 丸岡龍平¹, 柿崎礼史¹, 牧野碧穂¹(¹弘前大・農生, ²理研・CSRS, ³日本女子大・理)</p>
11:45	<p>2aA-12 主要栄養塩飢餓下における海洋性珪藻の CCM/ビレノイド制御 天野桃花¹, 嶋川銀河², 松田祐介¹(¹関学大・院理工, ²神戸大・院農)</p>		<p>2aC-12 ㊦ Towards unraveling the role of salicylic acid in executing hypersensitive cell death Keisuke Yoshida², Ai Obayashi², Keigo Tokunaga¹, Eriko Betsuyaku¹, Shunsuke Masuo³, Shigeyuki Betsuyaku¹(¹Fac. of Agr., Ryukoku Univ., ²Grad. Sch. of Agr., Ryukoku Univ., ³Fac. of Life & Env. Sci./MiCS, Univ. of Tsukuba)</p>	

● 第2日 3月14日(土) 午後(13:15-14:45)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	細胞壁	植物生物間相互作用B	オルガネラ / 細胞骨格 / 細胞内膜系
13:15	2pA-01 シアノバクテリア <i>Acaryochloris marina</i> での CRISPR 干渉法の開発 土屋徹(京大・院人間環境)	2pB-01 ㊟ The essential role of xyloglucan in the formation and regulation of plasmodesmata in the moss <i>Physcomitrium patens</i> Phu Thanh Ngo ¹ , Marcel Pascal Beier ^{2,3,4} , Chiyo Jinno ^{3,5} , Tomomichi Fujita ³ (1)Grad. Sch. Life Sci., Hokkaido Univ, (2)Inst. Advan. Hi Edu., Hokkaido Univ, (3)Fac. Sci., Hokkaido Univ, (4)Fukushima Inst. Res. Edu. Innov., (5)Bio Design Unit, OIST)	2pC-01 ㊟ Enhancing Soil Microbiome Resilience and Carbon Sequestration in Pomelo Orchards via Sod Culture and Biochar Amendments Chao-Li Huang ^{1,2} , Chu-Chun Lin ² , Ying-Hsuan Huang ¹ (1)Institute of Tropical Plant Sciences and Microbiology, National Cheng Kung University, Taiwan, (2)Graduate Program in Translational Agricultural Sciences, National Cheng Kung University and Academia Sinica, Tainan, Taiwan)	2pD-01 葉緑体塩基編集システムを用いたシロイヌナズナの <i>psbE</i> RNA 編集の機能解析 Mitsuhiro Matsuo ¹ , 垣見優輝 ¹ , 近藤優多 ¹ , 小保方潤一 ¹ , 佐藤壮一郎 ² , 中里一星 ³ , 有村慎一 ³ (1)摂南大・農, (2)京府大院・生命環境, (3)東大院・農学生命)
13:30	2pA-02 捕食性藻類 <i>Poteroiochromonas malhamensis</i> における捕食を介した光合成活性制御機構の解明 神保晴彦 ¹ , 峯村友輝 ¹ , 戸田成美 ² , 滝澤祐子 ³ , 力石嘉人 ³ , 廣田隆一 ² , 西山佳孝 ¹ (1)埼玉大・院・理工, (2)広大・院・統合, (3)北大・低温研)	2pB-02 接木に関与する β-1,4-グルカナーゼの機能解析 園田健太郎 ¹ , 川勝弥一 ² , 黒谷賢一 ³ , 小竹敬久 ⁴ , 野田口理孝 ^{1,2,3} (1)名古屋大 生物機能開発利用研究センター, (2)华中農業大 園芸林学部, (3)京都市大院理学, (4)埼玉大 院理工学)	2pC-02 ㊟ Grapevine phyllosphere pan-metagenomics reveals pan-microbiome structure, diversity, and functional roles in downy mildew resistance Jingyun Jin ¹ , Xiangfeng Wang ¹ , Xuenan Zhang ¹ , Junjie Mei ¹ , Wei Zheng ¹ , Linling Guo ¹ , Haisheng Sun ¹ , Lili Zhang ¹ , Chonghuai Liu ² , Wenxiu Ye ¹ , Li Guo ¹ (1)Peking University Institute of Advanced Agricultural Sciences, (2)Zhengzhou Fruit Research Institute, Chinese Academy of Agricultural Sciences)	2pD-02 ㊟ PpARC6s Mediate FtsZ-ring Remodeling At The Division Site In <i>Physcomitrium patens</i> Thi Huong Do ^{1,2} , Marcel Pascal Beier ³ , Hiroyoshi Takano ⁴ , Tomomichi Fujita ¹ (1)Hokkaido University, (2)Fukushima University, (3)Soil and Plant Multi-Dynamics Research Unit, Fukushima Institute for Research, Education and Innovation, (4)Kumamoto University)
13:45	2pA-03 シアノバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 における推定パートナーズスイッチングホスファターゼ Str2031 の役割 丹治登斗, 角田晴南, 日原由香子 (埼玉大院・理工)	2pB-03 ㊟ Xyloglucan endotransglucosylase/hydrolase family genes enhance plant grafting through callus proliferation Mu Xiong ^{1,2} , Ting Zhang ¹ , Xin Qian ¹ , Akebaierjiang Kadeer ¹ , Ken-ichi Kurotani ^{2,3} , Zhilong Bie ¹ , Ling Li ¹ , Changjin Liu ¹ , Xiangshuai Wu ¹ , Michitaka Notaguchi ^{1,2,3,4} , Yuan Huang ¹ (1)Grad. Sch. Hort. For., Univ. Huazhong Agri., (2)Grad. Sch. Bioagri. Sci., Univ. Nagoya, (3)BioSci. Biotech. Center., Univ. Nagoya, (4)Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto)	2pC-03 ㊟ A fungal nitrate-assimilation regulator CtAREA is involved in host protection conferred by plant endophyte <i>Colletotrichum tofieldiae</i> Akito Shiina, Kei Hiruma (Grad. Sch. Arts and Sci., Univ. Tokyo)	2pD-03 シロイヌナズナの第二染色体に存在する NUMT (Nuclear Mitochondrial DNA) 641kb の切除 中嶋梨花 ¹ , 伊藤雄吾 ¹ , 鍾昱陽 ¹ , 石井孝佳 ^{2,3} , 有村慎一 ¹ (1)東大・院農学生命, (2)鳥取大・乾燥地研究センター, (3)鳥取大・国際乾燥地研究教育機構)
14:00	2pA-04 転写因子 RpaB の DNA 結合活性のレドックス制御に関わる因子の同定 河原崎康介 ¹ , 御幡飛鷹 ² , 園池公毅 ² , 日原由香子 ¹ (1)埼玉大院・理工, (2)早稲田大・教育)	2pB-04 ㊟ Chemical screening identified GPM1 as a novel compound enhancing graft adhesion in Fabaceae Qianqian Luo ¹ , Xueyao Shu ¹ , Ayato Sato ^{2,3} , Yaichi Kawakatsu ⁴ , Frank Opoku-Agyemang ¹ , Ken-ichi Kurotani ^{4,5} , Michitaka Notaguchi ^{1,2,4,6,7} (1)Grad. Sch. Bioagri. Sci., Univ. Nagoya, (2)Inst ITbM., Univ. Nagoya, (3)COMIT, Univ. Nagoya, (4)BB Center, Univ. Nagoya, (5)CSACRA, Univ. Kyoto, (6)Dept. Botany, Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto, (7)NKL for Germplasm Innovation, HZAU)	2pC-04 免疫受容体と菌根共生関連シグナルは鉄依存的な根共生細菌による水稻の成長促進に機能する 井上加奈子 ¹ , 藤雅子 ¹ , 佐藤昌直 ² , Jewish Dominguez John ¹ , 佐藤豊 ³ , 永易将弘 ¹ , 福本由貴 ¹ , 村上匠 ^{4,5} , 小林高範 ⁶ , 南澤究 ⁷ , 経塚淳子 ⁷ , 西條雄介 ¹ (1)奈良先端大・バイオ, (2)北海道大・農, (3)遺伝研・ゲノム, (4)東京理科大・生命, (5)遺伝研・情報, (6)石川県立大・バイオ, (7)東北大・生命)	2pD-04 ミトコンドリア分裂変異体の形態解析によるシロイヌナズナにおけるミトコンドリア分裂機構の再評価 橋本将, 伊藤雄吾, 中里一星, 高梨秀樹, 有村慎一 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
14:15	2pA-05 ㊟ A Light-Responsive Partner-Switching System Regulating PSI Genes Expression in the Cyanobacterium <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 Xuan Huang ^{1,2} , Hitomi Imamitsu ^{1,2} , Kan Tanaka ² (1)IIST, Science Tokyo, (2)CLS, IIR, Science Tokyo)		2pC-05 ㊟ A new bacterial model for mutualism and sustainable agriculture reveals distinct yet synergistic roles of immunity and symbiosis signaling in rice Yusuke Saijo, Kanako Inoue, John Jewish A. Dominguez, Sumire Kiritani, Masahiro Nagayasu, Mari Okuda, Fumiaki Inoue (Biol. Sci., Nara Institute of Science and Technology)	2pD-05 植物ミトコンドリア mRNA の poly(A)付加制御と細胞生理機能 平山隆志 ¹ , 海田晴子 ¹ , June-Sik Kim ^{1,2} , 杉山宗隆 ³ , 持田恵一 ^{2,4,5} , 間宮章仁 ⁶ (1)岡山大・植物物, (2)理研・環境資源セ, (3)東大・院理, (4)横浜市大・木原研, (5)長崎大・情報科学, (6)京大・院理)

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
発生・形態形成	生殖	植物ホルモン / シグナル伝達物質	環境応答B / 環境ストレス				
2pE-01 WOX13 はカサの多能性獲得と側根の発達を抑制する 太平えり, 池内桃子(奈良先端大・バイオ)	2pF-01 ㊦ <i>EMU</i> genes are conserved regulators of egg maturation in two bryophyte lineages Tetsuya Hisanaga ¹ , Yen-Ting Lu ^{1,2} , Yihui Cui ¹ , Fumiaki Tejima ¹ , Emiko Yoro ^{3,4} , Tatsuaki Goh ¹ , Keiko Sakakibara ³ , Keiji Nakajima ¹ (1Grad. Sch. Sci. Tech., NAIST, 2Grad. Sch. Arts and Sci., Univ. Tokyo, 3Dept. Life Sci., Rikkyo Univ., 4Grad. Sch. Sci., Univ. of Osaka)	2pG-01 新奇サイトカイニン様物質の構造多様性がもたらす作用機序への影響 吉野実花 ¹ , 宮田和輝 ¹ , Surjana Alicia ¹ , 小嶋美紀子 ² , 幸木謙典 ¹ , 西川俊夫 ¹ , 榊原均 ^{1,2} (1名大院・生命農, 2理研CSRS)	2pH-01 カリウムトランスポーター AtHAK5 の活性型の過剰発現はシロイヌナズナの低カリウム耐性と耐塩性を向上させる 多田雄二, 渡邊公平, 渡邊勇貴, 板倉愛, 鈴木洋弥(東京工科大・応用生物)				13:15
2pE-02 SWI2/SNF2 ファミリー因子 BTAF1 に着目したシュート再生の分子遺伝学的解析 吉田(荻原)雪乃 ¹ , 森中初音 ² , 間宮章仁 ³ , 岩本訓知 ¹ , 伊藤(大橋)恭子 ¹ , 岩瀬哲 ² , 杉本慶子 ² , 森川龍 ¹ , 米倉崇晃 ¹ , 杉山宗隆 ¹ (1東京大・院理, 2理研・CSRS, 3京大・院理)	2pF-02 苔類ゼニゴケの生殖系列分化において BONOBO は細胞リプログラミング遺伝子 <i>LAXR</i> を誘導する 熊谷健隆 ¹ , 吉竹良洋 ¹ , 梶原智明 ¹ , 岩野恵 ¹ , 川村昇吾 ¹ , 安居佑季子 ¹ , 山岡尚平 ¹ , 西浜竜一 ² , 河内孝之 ¹ (1京大・院生命, 2東京理科大・創域理工・生命生物)	2pG-02 Leafy gall 形成を引き起こす植物病原菌における FAS1 の役割と産物 宮田和輝 ¹ , 吉野実花 ¹ , Alicia Surjana ¹ , 小嶋美紀子 ² , 幸木謙典 ¹ , 西川俊夫 ¹ , 榊原均 ^{1,2} (1名大院・生命農, 2理研CSRS)	2pH-02 環境ストレス情報を統合し植物免疫応答を活性化する分子機構の解明 森太志 ¹ , 野元美佳 ^{1,2,3} , 岡田絵美 ¹ , 岡本奎花 ¹ , 井上和佳子 ² , 松浦恭和 ⁴ , 兄玉豊 ⁵ , 市川晋太郎 ⁵ , 毛利一葉 ¹ , 鈴木智子 ^{2,6,7} , 長江拓也 ⁷ , 齊藤雄 ¹ , 藤原すみれ ⁸ , 筒井大貴 ⁹ , 高木結 ^{2,10,11} , 小川尊也 ¹² , 丸山明子 ¹³ , 東山哲也 ^{14,15} , 豊岡公德 ⁷ , 光田展隆 ⁸ , 吉岡博文 ¹² , 森泉 ⁴ , 山本義治 ¹⁶ , 多田安臣 ^{1,2} (1名古屋大・院理・生命理, 2名古屋大・遺伝子, 3JST・さきがけ, 4岡山大・資源植物科学研究所, 5宇都宮大・バイオセンター, 6日本女子大・理, 7理研・環境資源科学研, 8産総研・生物プロセス研究部門, 9沖縄科学技術大学院大, 10名古屋大・生物機能開発利用研, 11名古屋大・高等研, 12名古屋大・院生農, 13九州大・農, 14名古屋大・ITBM, 15東京大・院理・生物科学, 16岐阜大・応用生物科)				13:30
2pE-03 シュート再生における分化体細胞のリプログラミング機構を探る 森中初音 ¹ , 鳥井孝太郎 ¹ , 石東博 ¹ , 河村彩子 ¹ , 岩瀬哲 ¹ , 東山哲也 ² , 杉山宗隆 ² , 杉本慶子 ^{1,2} (1理研・CSRS, 2東京大・院・理・生物科学)	2pF-03 シロイヌナズナ花粉の雄原細胞分化を制御する bHLH ヘテロ二量体 BONOBO-LRL/DRIP の標的遺伝子の探索 渡辺菜瑠 ¹ , 富田由紀 ¹ , 宮川拓也 ¹ , 井上佳祐 ¹ , 吉竹良洋 ¹ , 海老根一生 ² , 中野雄司 ¹ , 河内孝之 ¹ , 荒木崇 ¹ , 山岡尚平 ¹ (1京大・院生命科学, 2埼玉大・院理工)	2pG-03 ㊦ Unravel the physiological role of cZ-type cytokinin during nitrogen deficiency stress Fanny Bellegarde ^{1,2} , Graziella Valencia Cong ¹ , Miki Shibutani ¹ , Hitoshi Sakakibara ^{1,3} (1Graduate school of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, 2Institute for Advanced Research, Nagoya University, 3RIKEN, CSRS)	2pH-03 植物傷害応答における植物ホルモンおよび Ca ²⁺ シグナルに対する麻酔薬の影響 岩瀬モカ ¹ , 平山朔也 ¹ , 柴田恭美 ² , 湯本絵美 ³ , 宮本皓司 ^{1,2,3} , 陽川憲 ⁴ , 萩原拓真 ⁵ , 豊田正嗣 ^{5,6,7} , 朝比奈雅志 ^{1,2,3} (1帝京大院・理工, 2帝京大・総合理工・環境バイオ, 3帝京大・先端機器分析セ, 4北見工業大・工, 5埼玉大・院・理工, 6SunRise・サントリー生命科学財団, 7華中農業大・植物科学技術学院)				13:45
2pE-04 クロマチンリモデリング因子 BRM が H3K27me3 のプライミングにより器官再生を準備する 松永幸大 ¹ , 堀江綾香 ¹ , 佐藤輝 ¹ , ディアッツマリアナ ³ , 坂本卓也 ² (1東大・院・新領域・先端生命, 2神奈川大・理・理, 3チューリッヒ大学・植物微生物学)	2pF-04 ゼニゴケ受精卵の非対称分裂機構から探る体軸形成機構の進化 木全祐資 ¹ , 藤森茜 ¹ , 王越 ¹ , 岡村陽介 ² , 植田美那子 ¹ (1東北大・院・生命, 2東海大・院・工学)	2pG-04 ゼニゴケの熟形態形成に対するサイトカイニンシグナルの関与 安喜史織 ¹ , 西浜竜一 ² , 河内孝之 ³ (1大和大学 理工学部 生物生命科学専攻, 2東京理科大学 創域理工学部 生命生物科学科, 3京都大学大学院 生命科学研究科)	2pH-04 ㊦ Unveiling Peculiar Alteration of Iron-Cadmium Transport and Accumulation in Rice under Allelopathic L-DOPA Stress Moh Hari Rusli ^{1,2} , Louis Grillet ^{1,2} (1Master Program in Global Agriculture Technology and Genomic Science, International College, National Taiwan University, 2Department of Agricultural Chemistry, College of Bioresources and Agriculture, National Taiwan University.)				14:00
2pE-05 DREAM 複合体は 3 つの細胞周期遺伝子群を DNA 結合因子 E2F・MYB3R・TCX で選択的に制御する 岩川秀和 ¹ , 野本友司 ¹ , 峯田敬斗 ¹ , 鈴木孝征 ² , 伊藤正樹 ¹ (1金沢大学・生命理工, 2中部大学・応用生物)	2pF-05 反足細胞と協働する植物新組織の発見とその機能 岡田健太郎 ¹ , 松本美樹 ¹ , 野田口理孝 ^{1,2} , 笠原章四郎 ¹ (1名大・生物センター, 2京大・院・理)	2pG-05 ㊦ KL-signaling promotes light-dependent cell division in the Streptophyte algae <i>Closterium peracerosum-strigosum-littorale</i> Hsiang-ting Lee ¹ , Tomoaki Nishiyama ^{2,3} , Junko Kawai ⁴ , Keiko Sakakibara ⁴ , Kotaro Nishiyama ⁵ , Suzuki Taiki ⁵ , Yusuke Kato ⁵ , Yoshiya Seto ⁵ , Junko Kyoizuka ¹ (1Graduate School of Life Science, Tohoku University, 2School of Science, Academic Assembly, University of Toyama, 3Research Center for Experimental Modeling of Human Disease, Kanazawa University, 4College of Science, Rikkyo University, 5Graduate School of Agriculture, Meiji University)	2pH-05 核局在性 CobW/WW ドメイン因子が緑藻クラミドモナスにおける CO ₂ 濃縮機構を抑制する 嶋村大亮 ^{1,2} , 安田詢子 ¹ , 山原洋佑 ¹ , 中野博文 ¹ , 小澤真一郎 ^{3,4} , 得津隆太郎 ^{5,6} , 山上あゆみ ¹ , 松下智直 ⁵ , 高橋裕一郎 ⁴ , 中野雄司 ¹ , 福澤秀哉 ^{1,7} , 山野隆志 ^{1,8} (1京大・院生命, 2理研・環境資源科学研究所, 3岡山大・資源植物科学研究所, 4岡山大・異分野基礎科学研究所, 5京大・院理, 6北里大・獣医, 7京都女子大・高等教育開発センター, 8京大・生命情報解析教育センター)				14:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月14日(土) 午後(13:15-14:45)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	細胞壁	植物生物間相互作用B	オルガネラ / 細胞骨格 / 細胞内膜系
14:30	<p>2pA-06 シアノバクテリアの強光ストレス応答における RpaA の関与 西藤琴音¹, 岩崎秀雄², 田中寛³, 華岡光正^{1,4,5} (1千葉大・院園芸・応用生命, 2早稲田大・先進理工, 3東京科学大・化生研, 4千葉大・植物分子科学セ, 5千葉大・宇宙園芸研究セ)</p>		<p>2pC-06 ㊦ Bacterial perception of root-derived signals mediates mutualistic associations in rice Zi Tong Heng¹, Kanako Inoue¹, John Jewish A. Dominguez¹, Masahiro Nagayasu¹, Min Fey Chek¹, Taito Matsuda¹, Shunsuke Tomita³, Kiyoshi Mashiguchi², Shinjiro Yamaguchi², Yusuke Saijo¹ (1Division of Biological Science, Nara Institute of Science and Technology, 2Institute for Chemical Research, Kyoto University, 3Health and Medical Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)</p>	<p>2pD-06 PI3P 合成変異体の解析から見えるリン脂質のオートファジー・膜輸送制御と植物発生への関与 後藤(山田)志野^{1,2}, Andisheh Poormassalehgoo³, Elzbieta Kaniecka³, Xavier Zarza⁴, 及川和聡^{2,5}, Teun Munnik⁴, 山田健志³, 真野昌二^{1,2} (1基生研・オルガネラ制御, 2総合研究大学院大・先端学術院, 3ヤギェウォ大学・MCB, 4アムステルダム大学・SILS, 5基生研・細胞生物)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
発生・形態形成	生殖	植物ホルモン / シグナル伝達物質	環境応答B / 環境ストレス				
<p>2pE-06 DREAM 複合体と FLP による細胞周期遺伝子の協調的制御機構の可能性 峯田敬斗¹, 岩川秀和², Moussa Benhamed³, 伊藤正樹²(¹金沢大・院・自然科学, ²金沢大・理工・生命理工, ³Université Paris-Saclay)</p>	<p>2pF-06 愛知県新城市作手のオハツキイチョウの形態 藤井友香¹, 古橋龍馬¹, 呂虹橋¹, 山下博史², 小林正美³, 内田美重^{1,4}, 景山伯春⁴, 井上和仁^{5,6}, 内田英伸^{1,6}(¹名古屋文理大・フードビジネス, ²京都府大・院・生命環, ³筑波大・物質工学域, ⁴名城大・院・総合学術, ⁵神奈川大・化学生命, ⁶神奈川大・総理研)</p>	<p>2pG-06 KL 信号伝達タンパク質間相互作用の実証および <i>in vitro</i> KL 検出系への応用 田中慧太^{1,2}, Jiawang Wu^{1,2}, 原田悠太郎³, 鈴木泰輝³, Yujiao Yan^{1,2}, 瀬戸義哉³, 亀岡啓^{1,2}(¹中科院・分子植物卓越中心, ²CAS-JIC CEPAMS, ³明大・農)</p>	<p>2pH-06 プラズマ照射によるイネの発芽促進機構の解明 永松太陽¹, 奥村賢直², 佐々木渉太³, 曾維琛⁴, 家門絵理¹, 石水毅^{1,8}, 小竹敬久⁵, 野村真未⁶, 國枝正⁷, 小野亮⁴, 金子俊郎³, 古閑一憲², 石川和也⁸(¹立命館大学, 生命科学部, ²九州大学, システム情報科学研究科, ³東北大学, 工学研究科, ⁴東京大学, 新領域創成科学研究科, ⁵埼玉大学, 院理工, ⁶山形大学, 理学部, ⁷奈良先端大, バイオ, ⁸立命館大学, R-GIRO)</p>				14:30

E = 発表の言語は英語

● 第3日 3月15日(日) 午前(9:00-11:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	システム生物学	生体膜・イオン・物質輸送	植物生物間相互作用B	オルガネラ / 細胞骨格 / 細胞内膜系
09:00	<p>3aA-01 高精度ゲノム解読に基づく AM 菌の種間比較ゲノムと非共生培養における胞子内振動 小林裕樹¹, 前田太郎², 田中幸子³, 江沢辰広⁴, 山口勝司⁵, 尾納隆大⁶, 西本裕希⁷, 重信秀治⁸, 川口正代司⁹(¹東京農大・総研, ²慶應大・政策メディア, ³基生研・共生システム, ⁴北大・院農学, ⁵基生研・トランスオミクス, ⁶基生研・光物理生物, ⁷基生研・クロマチン制御)</p>	<p>3aB-01 種々の刺激により誘発されるゼニゴケの活動電位を介した高遠長距離シグナル伝達系の分子機構の解析 朽津和幸¹, 岩本有宇¹, 渡邊健志郎¹, 橋西慶果¹, Mateusz Koselski², Renata Welc-Stanowska², Piotr Wasiko², Kazimierz Trebacz²(¹東京理科大学・創域理工・生命生物学, ²Maria Curie-Skłodowska Univ., Poland)</p>	<p>3aC-01 共生不和合性を利用した N₂O 削減根粒菌の根粒占有率向上技術の構築 西田帆那¹, 板倉学², Khin Thuzar Win¹, 李鋒³, 柿崎芳里², 鈴木敦夫², 大久保智司², Luong Van Duc², 菅原雅之⁴, 高橋浩司³, Matthew Shenton³, 増田幸子⁵, 柴田ありさ⁵, 白須賢⁵, 藤澤由紀子¹, 坪倉美紗⁶, 秋山博子⁶, 下田宣司¹, 南澤亮², 今泉(安楽)温子¹(¹農研機構・生物研, ²東北大院・生命科学, ³農研機構・作物研, ⁴帯広畜産大・生命・食料科学, ⁵理研CSRS, ⁶農研機構・農環研)</p>	<p>3aD-01 植物における細胞核内アクチン繊維について 松本朋子¹, 尾崎敦哉¹, 楢垣匠², 稲田のりこ¹(¹大阪大・院農, ²熊本大・院先端科学)</p>
09:15	<p>3aA-02 時系列トランスクリプトームと Cell-Type Deconvolution を組み合わせた維管束分化動態解析プラットフォームの構築 西村勇輝¹, 鹿島誠², 鳥津舞治³, 伊藤佑¹, 近藤佑貴¹(¹大阪大・院理学, ²東邦大・理学, ³セント大・VIB)</p>	<p>3aB-02 維管束に特異的に発現する Ca²⁺センサータンパク質による気孔開閉制御メカニズム 齋藤俊也¹, 内山剛志¹, 竹林昂亮¹, 三輪美沙子², 遠山翔², 杉浦広峻³, 加田渉², 松山成男², 新井史人³, Jörg Kudla⁴, 辻井雅¹, 石丸泰寛¹, 魚住信之¹(¹東北大学 工学研究科 バイオ工学専攻 応用生物物理化学分野 〒 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-07, ²東北大学 工学研究科 量子エネルギー工学専攻 加速器・原子炉システム工学分野 〒 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-01-2, ³東京大学 工学系研究科 機械工学専攻 産業システム工学講座 〒 113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1, ⁴Institut für Biologie und Biotechnologie der Pflanzen (IBBP), Universität Münster, Schlossplatz 7, 48149 Münster, Germany)</p>	<p>3aC-02 AM 菌接種ミヤコグサ AON 欠損変異体におけるシュートの成長解析 深瀬百恵¹, 川出健介²(¹埼玉大・理, ²埼玉大・院・理工)</p>	<p>3aD-02 高速型キメラミオシン XI の異種発現によるトマトの原形質流動および植物成長の促進 小原煌¹, 原口武士², 伊藤光二², 野中聡子^{3,4}, 富永基樹^{1,5}(¹早稲田大・院・先進理工, ²千葉大・院・理・生物, ³筑波大・T-PIRC, ⁴筑波大・生命環境系, ⁵早稲田大・教育総合科学・生物)</p>
09:30	<p>3aA-03 SAJA 応答状態を独立に推定するトランスクリプトームバイオマーカーの開発と自然の植食者群集下の植物への適用 冨田敦睦¹, 前田太郎¹, 森山(毛利)奈津美³, 野村康之³, 栗田悠子⁴, 鹿島誠², 別役重之⁶, 佐藤安弘⁷, 永野輝^{1,8}(¹慶應大・IAB, ²慶應大・政メ, ³龍谷大・食農研, ⁴東大・農, ⁵東邦大・理, ⁶龍谷大・農, ⁷北大・環境, ⁸名大・生物機能開発利用研究センター)</p>	<p>3aB-03 キナーゼ阻害剤 AG126 と誘導体の特性評価を通じた孔辺細胞 PM H⁺-ATPase リン酸化制御機構の解析 桑山翔梧¹, 高橋宏二¹, 林真紀², 林優紀¹, 深津孝平¹, 相原悠介³, 佐藤伸哉⁴, 加納圭子⁴, 三城志美⁴, 佐藤綾人⁴, 木下俊則^{1,4}(¹名古屋大・院理, ²東北大・院生命, ³神戸大・院理, ⁴名古屋大・ITbM)</p>	<p>3aC-03 アーバスキュラー菌根菌に感染したミヤコグサ AON 欠損変異体における炭素動態 大澤愛花¹, 川出健介²(¹埼玉大・理, ²埼玉大・院・理工)</p>	<p>3aD-03 アクチン-ミオシン相互作用による原形質流動が道管構造の均一性に寄与する 貴嶋紗久¹, 上田晴子², 光田展隆¹, 小田祥久³(¹産総研・バイオものづくり, ²甲南大・理工, ³名古屋大・院・理)</p>
09:45	<p>3aA-04 大規模野外トランスクリプトームデータを活用した深層学習による頑健な遺伝子発現予測モデルの構築 永壽暖^{1,2}, 本田爽太郎³, 大久保智司⁴, 安達俊輔⁵, 岩山幸治⁶, 永野輝^{1,7}(¹慶應大・IAB, ²慶應大・政メ, ³東京農工大学・農学, ⁴東北大・生命科学, ⁵農工大・グローバルイノベーション, ⁶滋賀大・データサイエンス, ⁷名大・生物機能開発利用研究センター)</p>	<p>3aB-04 カリウム輸送体を介した気体湿度応答機構の解析 山梨太郎¹, 内山剛志¹, 高木智子², 齋藤俊也¹, 三輪美沙子¹, 遠山翔¹, 松山成男¹, 横北卓也³, 菊永英寿³, 清水未崎⁴, 齋藤芳郎⁴, 鈴木孝征⁵, 永田典子², 山上睦⁶, 石丸泰寛¹, 魚住信之¹(¹東北大・院工学研究科, ²日本女子大・化学生命科学科, ³東北大・先端量子ビーム科学研究センター, ⁴東北大・院薬学研究科, ⁵中部大・応用生物学部, ⁶公益財団法人環境科学技術研究所)</p>	<p>3aC-04 ㊦ Investigation of the role of <i>CRINKLE</i> during rhizobial infection in <i>Lotus japonicus</i> Akira Akamatsu¹, Aya Shimomura^{1,2}, Tsuneo Hakoyama¹, Shusei Sato³, Masayoshi Kawaguchi⁴, Makoto Hayashi¹(¹CSRS • RIKEN, ²Fac. Agri., Saga Univ., ³Grad. Sch. Life Sci., Tohoku Univ., ⁴NIBB)</p>	<p>3aD-04 微小管-小胞体相互作用を促進する新規因子の機能解析 土井翠, 佐々木武馬, 小田祥久(名古屋大・院理・生命理学)</p>
10:00	<p>3aA-05 ㊦ ATTED-II v13: Expanded Species and PCA-Based Condition Summaries Daffa Aprilia¹, Dalia Khatun¹, Takeshi Obayashi^{1,2}(¹Grad. Sch. Info. Sci., Tohoku Univ., ²WPI-AIMEC, Tohoku Univ.)</p>	<p>3aB-05 ㊦ Proline-2'-Deoxymugineic Acid, a synthetic photosiderophore, facilitates the rapid recovery of poplar trees from iron deficiency during early growth May Sann Aung¹, Motofumi Suzuki², Kyoko Toyofuku¹, Atsushi Ogawa¹, Hiroshi Masuda¹(¹Akita Prefectural University, ²Aichi Steel Corporation)</p>	<p>3aC-05 陸上植物の菌根共生に共通する宿主側・菌根菌側の因子 山崎明広¹, Hector Montero¹, Alexandra Dallaire^{1,2}, 岩瀬哲¹, 河村彩子¹, 竹林有理佳¹, 杉本慶子¹, Uta Paszkowski^{1,3}(¹理研・環境資源科学研究センター, ²ラヴァル大学, ³ケンブリッジ大学)</p>	<p>3aD-05 道管の壁孔形成を制御する新規 ROP シグナル経路の解析 小林直, 佐々木武馬, 小田祥久(名古屋大・院理・生命理学)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
発生・形態形成	光受容体 / 光応答	植物ホルモン / シグナル伝達物質	環境応答B / 環境ストレス				
<p>3aE-01 ㊦</p> <p>Multi-trait phenotypic plasticity of root and its molecular regulatory mechanism in amphibious plant <i>Callitriche palustris</i> Tomo Sato, Hiroyuki Koga, Hirokazu Tsukaya (Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)</p>	<p>3aF-01</p> <p>シロイヌナズナの根毛形成は SPA1 を介した根の光応答によって調節される 市川晴雪, 陽川憲 (北見工大)</p>	<p>3aG-01</p> <p>受容体様キナーゼ GREK とペクチンによる老化開始制御機構 船橋大輔¹, 肥後あすか², 打田直行^{1,2} (1名古屋大・院生命科学, 2名古屋大・遺伝子実験施設)</p>	<p>3aH-01 ㊦</p> <p>Extreme Environmental Tolerance of <i>Physcomitrium patens</i> Spores in ISS Exposure: A First Step Toward Moss-Based Terraforming Changhyun Maeng¹, Yuji Hiwatashi², Keita Nakamura³, Osamu Matsuda⁴, Hajime Mita⁵, Kaori Yokotani⁶, Shin-ichi Yokobori⁷, Akihiko Yamagishi⁷, Atsushi Kume⁸, Tomomichi Fujita¹ (1Faculty of Science, Hokkaido University, 2School of Food Industrial Sciences, Miyagi University, 3Graduate School of Food, Agricultural and Environmental Sciences, Miyagi University, 4Faculty of Science, Kyushu University, 5Department of Life, Environment, and Applied Chemistry, Fukuoka Institute of Technology, 6Faculty of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, 7School of Life Sciences, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences, 8Faculty of Agriculture, Kyushu University)</p>	シロイヌナズナの ASPB-JSPP Joint Symposium—Plant resilience and plasticity powered by dynamic cellular responses (9:00–11:00)			09:00
<p>3aE-02</p> <p>側根創始細胞の極性形成におけるオーキシン極性輸送の役割 金田紗苗, 柿本辰男 (阪大・院理)</p>	<p>3aF-02</p> <p>青色光受容体 LLP と VTC2 の光依存的な結合と解離の解析 井川侑香¹, 立川勇介¹, 浦野裕貴¹, 古谷朋之², 高橋文雄³, 岩田達也³, 伊岡峰生³, 末次憲之⁴, 河内孝之⁵, 笠原賢洋¹ (1立命館大・院生命科学, 2大阪大・院理, 3東邦大・薬, 4東京大・院総合文化, 5京成大・院生命科学)</p>	<p>3aG-02</p> <p>ROS を起点とする器官間コミュニケーションを介した胚軸成長制御メカニズムの提唱 川端康暉^{1,2}, 村尾瑞基², 肥後あすか², 打田直行² (1名大・院理, 2名大・遺伝子)</p>	<p>3aH-02</p> <p>カタバミの葉色を決める遺伝子の同定 飯村秀明¹, 佐藤光彦¹, 青柳優太¹, 深野祐也², 菊池真司², 白澤健太¹ (1かずさDNA 研・植物ゲノム生物学, 2千葉大・院園芸学)</p>				09:15
<p>3aE-03 ㊦</p> <p>Polymerization-mediated SRFR1 condensation in upper lateral root cap cells regulates root growth Jianbin Su, Walter Gassmann (University of Missouri)</p>	<p>3aF-03</p> <p>フォトリボリンは自己リン酸化様式の切り換えを介して葉緑体定位運動を制御する実温度センサーである 野口穂¹, 福島竜志^{1,2}, 若杉早紀^{1,2}, 児玉豊^{1,2} (1宇都宮大・バイオセンター, 2宇都宮大院・地域創生科学)</p>	<p>3aG-03</p> <p>植物暗所芽生えの胚軸伸長を阻害する低分子化合物の解析 中川彩美¹, 桑田啓子¹, 山田終哉¹, 竹林裕美子², 廣田毅¹, 佐藤綾人¹, 打田直行³, 榊原均^{2,4}, 下遠野明恵¹, 伊丹健一郎^{1,2,5}, 村上慧⁶, 鳥居啓子^{1,7,8} (1名古屋大・ITbM, 2理研・CSRS, 3名古屋大・遺伝子実験施設, 4名古屋大院・農学研究科, 5理研・開拓研究所, 6関西学院大・理, 7テキサス大オースティン校・分子生物, 8ハーワード・ヒューズ医学研究所)</p>	<p>3aH-03</p> <p>シロイヌナズナの短期高温耐性獲得変異株の解析 小川明日香¹, 柳原美来¹, 増田悟郎², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2東京農大・ゲノムセンター)</p>				09:30
<p>3aE-04</p> <p>再構築された概日リズムが調節する側根発達制御メカニズム解明 野本颯汰¹, 大名門拓実¹, 間瀬皓介¹, 前田明里², 坂岡里実¹, 鈴木孝征³, 稲垣宗一⁴, Todd Michael⁵, 中道範人², 塚越啓央¹ (1名城大・農, 2名古屋大・院理, 3中部大・応用生物, 4東京大・院理・生物, 5ソーク研究所)</p>	<p>3aF-04</p> <p>葉緑体集合反応を制御する JAC1 の機能解析 井上祐輝¹, 入枝泰樹², 末次憲之¹ (1東大・院総合文化, 2信大・学術院農)</p>	<p>3aG-04</p> <p>寄生植物ストライガにおけるストリゴラクトン受容体の進化の軌跡 出口真由¹, Jia Xin Yap², 土屋雄一朗^{1,2} (1名大院・理, 2名大・ITbM)</p>	<p>3aH-04</p> <p>シロイヌナズナ長期高温感受性変異株 <i>stoh12</i> の原因遺伝子同定 木下暖斗¹, 増田悟郎², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2東京農大・ゲノムセンター)</p>				09:45
<p>3aE-05</p> <p>RGF8 は側根原基の初期発達における分裂方向の転換を促進する 野田光彦¹, 金田紗苗², 柿本辰男² (1大阪大・理, 2大阪大・院理)</p>	<p>3aF-05</p> <p>葉緑体光定位運動制御因子 KAC の暗条件依存的凝集体形成 比瀬毅, 末次憲之 (東京大院・総合文化)</p>	<p>3aG-05 ㊦</p> <p>Exploring the natural variations in strigolactone perception among different <i>Striga hermonithica</i> ecotypes Wen Wei Loh¹, Jia Xin Yap², Kakeru Shioya¹, Yuichiro Tsuchiya^{1,2} (1Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ., 2ITbM, Nagoya Univ.)</p>	<p>3aH-05</p> <p>シロイヌナズナ長期高温感受性変異株 <i>stoh2</i> の原因遺伝子同定 芳野晴臣¹, 村越祐介¹, 山口凌¹, 細井昂人², 増田悟郎², 鈴木孝征³, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2東京農大・ゲノムセンター, 3中部大・応生)</p>				10:00

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月15日(日) 午前(9:00-11:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	システム生物学	生体膜・イオン・物質輸送	植物生物間相互作用B	オルガネラ / 細胞骨格 / 細胞内膜系
10:15	<p>3A-06 ㊦</p> <p>Characterization of prion-like domain-containing proteins in diverse phytoplankton groups Matthew Brown, Yusuke Matsuda (Department of Biosciences, Kwansai Gakuin University)</p>	<p>3A-06</p> <p>金属輸送体遺伝子, <i>OsVIT1</i> または <i>OsYSL9</i> のゲノム編集によりイネ(あきたこまち)の白米の鉄含有量が³増加する 増田寛志¹, 高橋克巳¹, 荒川真穂¹, 高橋建宇¹, 小林高範², 頼泰樹¹, 松本武彦¹, 神谷岳洋³, アウンメイサン¹ (¹秋田県立大, ²石川県立大, ³東大院・農生研)</p>	<p>3A-06</p> <p>アーバスキュラー菌根共生とそれ以外の過程で二重の機能を持つ遺伝子 Zijie Li^{1,2}, 福島健児³, 魚岡啓^{1,2} (¹中国科学院・植物科学卓越创新中心, ²CAS-JIC CEPAMS, ³遺伝研)</p>	<p>3A-06</p> <p>篩要素におけるオルガネラ・細胞骨格・細胞内膜系の再編成機構の探索 杉山友希^{1,2}, 小田祥久² (¹名古屋大・高等研究院, ²名古屋大・院理・生命理学)</p>
10:30	<p>3A-07</p> <p>AIによる構造予測に基づいた変異導入による転写因子の活性上昇 古林健太郎¹, 淀屋賢亮², 永田宏次¹, 篠崎和子^{1,3}, 溝井順哉¹ (¹東大院・農生命科学, ²カゴメ(株), ³東京農大・農生命科学研)</p>	<p>3A-07</p> <p>鉄の分配を担うイネ節の排出輸送体 OsIET1 車景¹, 黄勝², Yuting Qu¹, Yuma Yoshioka³, Chiyuri Tomita³, Takaaki Miyajiri³, Zhenyang Liu¹, Renfang Shen¹, 山地直樹², 馬建鋒² (¹中国科学院南京土壤研究所, ²岡山大学資源植物科学研究所, ³岡山大学自然生命科学研究支援センターゲノム・プロテオーム解析部門)</p>	<p>3A-07</p> <p>寄生植物の宿主侵入を支える細胞壁成分の動的変化 伊藤千陽¹, 國枝正¹, Songkui Cui², 出村拓¹, 吉田聡子¹ (¹奈良先端大・バイオ, ²昆明植物研究所)</p>	<p>3A-07</p> <p>CDKA が³光応答を制御する新たな仕組みの解明 宮崎朔多¹, 井上夏実², 石川雅樹³, 長谷部光泰³, 岡根政実⁴, 藤田知道² (¹北大・院生命科学, ²北大・院理, ³基生研・生物進化, ⁴石川県大・生物資源環境)</p>
10:45	<p>3A-08 ㊦</p> <p>Multi-Pipeline Iterations and Multi-Omics Resolve Annotation Stochasticity and Uncover Extensive Gene Repertoire in Angiosperms Chang-Hung Chen¹, Chia-Chang Lin², Meng-Ting Tsai^{1,3}, Shang-Che Kuo⁴, Chia-Chen Chu^{1,2}, Yung-Chu Yang¹, Yi-Chen Wu¹, Jhong-He Yu¹, Pin-Chien Liou¹, Chen-Wei Hu^{1,2}, Jung-Chen Su⁵, Ying-Hsuan Sun⁶, Jo-Wei Allison Hsieh⁷, Te-Lun Mai², Ying-Lan Chen^{3,8}, Ying-Chung Jimmy Ljin^{1,2,4} (¹Institute of Plant Biology, College of Life Science, National Taiwan University, Taipei, Taiwan, ²Department of Life Science, College of Life Science, National Taiwan University, Taipei, Taiwan, ³Department of Biotechnology and Bioindustry Sciences, College of Bioscience and Biotechnology, National Cheng Kung University, ⁴Genome and Systems Biology Degree Program, College of Life Science, Academia Sinica and National Taiwan University, Taipei, Taiwan, ⁵Department of Pharmacy, College of Pharmaceutical Sciences, National Yang Ming Chiao Tung University, Taipei, Taiwan, ⁶Department of Forestry, College of Agriculture and Natural Resources, National Chung Hsing University, Taichung, Taiwan, ⁷Genome Center, University of California, Davis, Davis, CA, USA, ⁸University Center of Bioscience and Biotechnology, National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan)</p>		<p>3A-08 ㊦</p> <p>Identification of the Master Regulator Controlling Haustorium Development in the Hemiparasite <i>Phtheirospermum japonicum</i> Ninghui Zhao, Yanmei Li, Lei Xiang, Satoko Yoshida (Graduate School of Science and Technology, NAIIST)</p>	<p>3A-08</p> <p>動物由来 EML2-L を用いた植物細胞の微小管脱重合端の可視化 北島幸美¹, 小野華歌¹, 南野尚紀², 堀田崇³, 檜垣匠¹ (¹熊本大・院・自然科学, ²福岡大・理, ³ニューメキシコ大・総合がんセンター)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
発生・形態形成	光受容体 / 光応答	植物ホルモン / シグナル伝達物質	環境応答B / 環境ストレス				
<p>3aE-06 根冠外層特異的なシロイヌナズナ <i>BEARSKIN1/2</i> 遺伝子の発現維持機構 郷達明¹, 山本真誠¹, 片岡佑理¹, 上野皓輝¹, 藤本晃範¹, 山口暢俊¹, 宮島俊介^{1,2}, 中島敬二¹(¹奈良先端大・先端科学技術, ²石川県立大・生資工研)</p> <p>3aE-07 ㊦ Regulatory mechanisms underlying stem cell maintenance in the <i>Arabidopsis</i> root cap Paktraporn Mekloy^{1,2}, Akie Shimotohno¹, Ye Zhang², Masaaki Umeda² (¹ITbM, Nagoya Univ., ²Grad. Sch. Sci. Tech., NAIST)</p> <p>3aE-08 半数体化がシロイヌナズナの成長に及ぼす影響の解析 宮下貴文¹, 菊池涼夏², 杉山宗隆³, 岩元明敏^{1,4} (¹神奈川大・院・理・生物科学, ²山口大・院・創成科学, ³東京大・院・理・生物科学, ⁴神奈川大・理・生物)</p>	<p>3aF-06 青色光に応答した気孔開口の必須因子 <i>BLUS1</i> の孔辺細胞特異的な発現制御機構の解析 山口歩莉¹, 野元美佳^{2,3}, Hassan Nadeem⁴, Diwaker Shukla⁴, 多田安臣^{2,3}, 祢宜淳太郎⁵, 白川一^{6,7}, 武宮淳史⁸ (¹山口大・理, ²名大・院・理, ³名大・遺伝子, ⁴Dept. Bioeng.・UIUC, ⁵九州大・院・理, ⁶奈良先端大・バイオ, ⁷Academia Sinica, ⁸山口大・院・創成科学)</p> <p>3aF-07 葉肉シグナルとしての糖による光合成依存性な気孔開口の制御機構の解明 安藤英伍¹, 林優紀¹, 木下俊則^{1,2} (¹名大・院・理・生命, ²名大・WPI-ITbM)</p> <p>3aF-08 ㊦ Analysis of evolutionary conservation of photosynthesis signaling mechanisms dependent on B4-Raf-like kinases in land plants Shota Yamauchi¹, Hayato Watanabe¹, Tomoki Kuribayashi¹, Hinano Takase², Kota Yamashita², Taishi Umezawa², Ryuichi Nishihama¹ (¹Fac. Sci. Tech., Tokyo Univ. Sci., ²Grad. Sch. BASE, Tokyo Univ. Agri. Tech.)</p>	<p>3aG-06 フタバネゼニゴケにおける PHR 転写因子を介したストリゴラクトン生合成の制御 依田彬彦¹, 児玉恭一¹, 野村崇人², 経塚淳子¹ (¹東北大・生命科学, ²宇都宮大・バイオ)</p> <p>3aG-07 mRNA の長距離移行性に関わる移行性塩基配列の研究 岩田拓巳¹, 岡田健太郎², 永原史織¹, 黒谷賢一¹, 望月伸悦¹, 野田口理孝^{1,2} (¹京大・院・理, ²名大・生物機能開発利用研究セ)</p> <p>3aG-08 ABA 合成酵素 ABA2 が触媒する反応機構の解明と真の反応生成物の同定 藤山敏介¹, 山田彩加², 小笹祐吏², 佐藤光羽², 小嶋美紀子¹, 竹林裕美子¹, 菅野裕理¹, 竹内純^{3,4}, 大西利幸^{3,4}, 轟泰司³, 岡本昌憲¹ (¹理研・CSRS, ²静大・院総科技, ³静大・農, ⁴静大・グリーン)</p>	<p>3aH-06 シロイヌナズナ長期高温感受性変異株 <i>slah7</i> の機能解析 野萱梨々香¹, 細井昂人², 鈴木孝征³, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (¹東京農大・バイオ, ²東京農大・ゲノムセンター, ³中部大・応生)</p> <p>3aH-07 植物プロゲステロン受容体候補 AmPR の花器官におけるストレス耐性機構の解明 衣笠有夏¹, 山上あゆみ¹, 大坊りら¹, 上林綾加^{2,3}, 嶋田勢津子², 飯野真由美², 野村崇人⁴, 作田正明³, 浅見忠男⁵, 横田孝雄⁶, 中野雄司¹ (¹京大院・生命, ²理研・CSRS, ³お茶大院・創成科学, ⁴宇都宮大・バイオ, ⁵横浜市大・木原生研, ⁶帝京大・バイオ)</p> <p>3aH-08 ㊦ The U1 snRNP component RBP45D regulates thermomorphogenesis through alternative splicing in <i>Arabidopsis</i> Geeng-Loo Chong, Ping Chang, Hsin-Yu Hsieh, Shih-Long Tu (Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica)</p>	<p>シロイヌナズナ ASPB-1SPP Joint Symposium—Plant resilience and plasticity powered by dynamic cellular responses (9:00–11:00)</p>			<p>10:15</p> <p>10:30</p> <p>10:45</p>

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月15日(日) 午後(13:30-15:30)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	システム生物学	生体膜・イオン・物質輸送		オルガネラ / 細胞骨格 / 細胞内膜系
13:30	<p>3pA-01 ㊦ Bootstrap-Like Degradome Profiling and Quantum Computing for Accurate Plant microRNA Target and Precursor Predictions Chih-Ling Huang, Yu-Ling Hung, Jia-Zhen Yu, Shih-Shun Lin (Institute of biotechnology, National Taiwan University)</p>	<p>3pB-01 イネマンガン輸送体 OsNramp5 の偏在に必要な残基の同定 小西範幸, 馬建鋒 (岡山大学・植物研)</p>		<p>3pD-01 ミオシン XI による NIP5;1 局在制御とホウ素輸送機構 劉海洋¹, 室啓太², 千島陸¹, 高野順平², 富永基樹^{1,3} (1早稲田大・院・先進理工, 2大阪公立大・院・農学, 3早稲田大・教育総合科学・生物)</p>
13:45	<p>3pA-02 ㊦ Transposable elements drive evolution and perturb gene expression in <i>Brassica rapa</i> and <i>B. oleracea</i> Yao-Cheng Lin¹, Po-Xing Zheng¹, Chia-Ying Ko¹, Jheng-Yang Ou¹, Andrea Zuccolo² (1Agricultural Biotechnology Research Center, Academia Sinica, Taiwan, 2Manash Kozybayev North Kazakhstan University, Kazakhstan)</p>	<p>3pB-02 シロイヌナズナの ZIP3 と ZIP5 は亜鉛の取り込みに働き, 亜鉛依存的なエンドサイトーシスと分解による制御を受ける 根本雅弥¹, 堀川和花², 並木綾音³, 西田翔^{4,5}, 高野順平^{1,2,3} (1大阪公立大学農学部応用生物科学科, 2大阪府立大学大学院生命環境科学研究所, 3大阪府立大学生命環境科学域, 4佐賀大学農学部生物資源科学科, 5鹿児島大学大学院連合農学研究科)</p>		<p>3pD-02 シロイヌナズナ RABH1 GTPase の機能解析 岩下明日香¹, 大堀智博², 伊藤容子³, 伊藤瑛海^{6,7}, 中野明彦^{4,5}, 上田貴志^{6,7}, 植村知博^{1,2} (1お茶大・理・生物, 2お茶大・院・ライフサイエンス, 3お茶大・ヒューマンライフ, 4東京科学大・総合研究院, 5理研・光子量子光学, 6基生研・細胞動態, 7総研大・基礎生物)</p>
14:00		<p>3pB-03 シロイヌナズナにおけるホウ酸チャネル構造変異体の ERAD 経路による分解機構の解析 張哲^{1,2}, Sheliang Wang^{2,3}, 高野順平^{1,2} (1大阪公立大・院農, 2大阪府大・院生環科, 3華中農大・院生環)</p>		<p>3pD-03 TGN における脂質シグナルの解析 - ホスファチジルイノシトール 4-リン酸 (PI4P) は植物内膜系においてどのように機能するのか? 長谷川陽子¹, Nelson Serre¹, Lise Noack¹, Matthieu Platre¹, Amélie Bernard², Johann Boutte², Yvon Jaillais¹ (1Laboratoire Reproduction et Développement des Plantes (RDP), Université de Lyon, ENS de Lyon, UCB Lyon 1, CNRS, INRAE - France, 2Laboratory of Membrane Biogenesis (LBM), CNRS/Université de Bordeaux - France)</p>
14:15		<p>3pB-04 ㊦ Functional characterization of a tonoplast-localized aquaporin, OsTP2;1 in rice Jun Ge, Namiki Mitani, Jian Feng Ma (IPSR, Okayama Univ.)</p>		<p>3pD-04 葉の油滴に局在する新規タンパク質群の同定とその機能的意義 島田貴士^{1,2}, 尾亦雄斗¹, 岩井裕也², 三城恵美³, 加納圭子³, 上田晴子⁴, 西村いくこ⁴ (1千葉大・園芸, 2千葉大・院・園芸, 3名古屋大, 4甲南大)</p>
14:30		<p>3pB-05 イネ OsHKT1;1 スプライシングバリエーションの輸送特性と遺伝子発現プロファイル Shahin Imran¹, 小野峻太郎¹, 堀江理絵², 且原真木¹, 堀江智明² (1岡山大学・資源植物科学研究所, 2信州大学・繊維学部)</p>		<p>3pD-05 機械学習と遺伝学の融合が解き明かすピレノイド相分離の物理法則 松尾光治良¹, 山野隆志^{1,2} (1京大・院・生命, 2京大・生命情報解析教育センター)</p>
14:45		<p>3pB-06 ㊦ Functional Role of an Ion-Conducting Aquaporin, OsPIP2;4, in Ion Homeostasis and Salt Stress Response in Rice Plants Newton Chandra Paul¹, Tomoaki Horie², Maki Katsuhara¹ (1Institute of Plant Science and Resources, Okayama University, 2Faculty of Textile Science and Technology, Shinshu University)</p>		<p>3pD-06 核の細胞内配置を規定する核膜孔複合体サブユニット 田村謙太郎¹, 岩野真奈¹, 河原直也², 荒平悠衣¹, 嶋田知生² (1静岡県大・食品栄養科学, 2京大・院・理学)</p>
15:00		<p>3pB-07 ㊦ Water and Ion Pathways in Ion-Conducting/Channel Aquaporins in Tomato PIP2s Fakhar Uddin Talukder, Maki Katsuhara (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)</p>		<p>3pD-07 接木誘導性 Germin-Like Protein の道管形成過程における原形質連絡封鎖機構の解析 永原史織¹, 金釜華², 森萌恵³, 岡田健太郎³, 望月伸悦¹, 黒谷賢一¹, 野田口理孝^{1,2,3} (1京都大・院・理, 2名古屋大・院・生命農, 3名古屋大・生物機能開発利用研究センター)</p>
15:15				<p>3pD-08 遺伝子ネットワーク解析による新規原形質連絡関連遺伝子の探索 大山泰生¹, 黒谷賢一¹, 永原史織¹, 野田口理孝^{1,2} (1京都大・院・理, 2名大・生物機能開発研セ)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
		植物ホルモン / シグナル伝達物質	環境応答B / 環境ストレス				
		<p>3pG-01 DELLA-GAF1 複合体を介した ABA と GA のクロストーク機構の解析 小此木のぞみ, 谷永悠季, 中林誠太郎, 高橋陽介, 深澤壽太郎 (広島大・院統合生命)</p> <p>3pG-02 ヒストン修飾を介した DELLA による転写活性化および生長抑制機構の解明 安藤広記¹, 野澤彰², 小迫英尊³, 澤崎達也², 高橋陽介¹, 深澤壽太郎¹ (1)広島大・院統合生命, ²愛媛大・PROS, ³徳島大・先端酵素研)</p> <p>3pG-03  Role of NITRATE TRANSPORTER 1.5 in regulating auxin distribution in <i>Arabidopsis</i> roots Rubayet Sharmin Ema¹, Hayato Shinonaga¹, Ken-ichiro Hayashi², Masaaki Umeda¹ (1)Grad. Sch. Sci. & Tech., NAIST, ²Department of Bioscience, Okayama Univ. Sci.)</p> <p>3pG-04 新規因子 BIL7 によるブラシノステロイド応答性転写誘導機構の解析 西田快世¹, 仲村友介¹, 山上あゆみ¹, 宮川拓也¹, 浅見忠男², 中野雄司¹ (1)京大院・生命, ²横浜市大・木原生研)</p> <p>3pG-05 ヒメツリガネゴケにおける転写因子 TGA の機能解析 高魚裕規, 太治輝昭, 坂田洋一, 四井いずみ (東京農大・バイオ)</p> <p>3pG-06  Hyperactivated jasmonic acid signaling enforces plant-microbiome feedbacks in <i>Arabidopsis</i> Tung Tse Lu¹, Miguelito Isip¹, Chiao Jung Han¹, Hung Jui Shih¹, Lai Loi Trinh¹, Silvina Perin², Yu Chun Lin³, Po An Lin³, Ka-Wai Ma^{1,3} (1)Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan., ²Department of Plant Microbe Interactions, Max Planck Institute for Plant Breeding Research, Cologne, Germany., ³Department of Entomology, National Taiwan University, Taipei, Taiwan.)</p>	<p>3pH-01 大腸菌における C 末端欠失型 PICL タンパク質の発現による温度感知タンパク質 PICL の構造解析 今田周太¹, 松本崇杜¹, 中村有紗², 古本強^{1,2} (1)龍谷大・農学, ²龍谷大・院農学)</p> <p>3pH-02 新たな温度センサータンパク質である PICL は, 細胞質内の酸化還元比と温度情報を統合し感知する 松本崇杜, 古本強 (龍谷大・院・農学)</p>	シンポジウム 1-1 Next-Trend of Plant Biology in Japan and Taiwan (13:30-16:30)	シンポジウム 1-2 Recent Advances in the Regulation of Photosynthetic Electron Transport and the Roles of Alternative Electron Flows (13:30-16:30)		13:30
							13:45
							14:00
							14:15
							14:30
							14:45
							15:00
							15:15

 = 発表の言語は英語

一般講演・口頭発表 座長一覽

1日目 3月13日(金) 午前

1aA-01-1aA-12	光合成	山本 治樹 藤井 律子 藤田 祐一
1aB-01-1aB-12	一次代謝	吉竹 悠宇志 小島 創一 宮城 敦子
1aC-01-1aC-06	特化(二次)代謝	相原 悠介 平井 優美
1aD-01-1aD-12	ゲノム機能・遺伝子発現制御	中村 光希 坂本 卓也 佐々木 江理子
1aE-01-1aE-12	発生・形態形成	森中 初音 古賀 皓之 木下 温子
1aF-01-1aF-12	新技術開発	須田 啓 高塚 歩 小田原 真樹
1aG-01-1aG-12	環境応答A/生理反応	赤羽根 健生 小川 健一 下遠野 明恵
1aH-01-1aH-12	環境応答B/環境ストレス	高橋 史憲 藤田 泰成 溝井 順哉

1日目 3月13日(金) 午後

1pA-01-1pA-12	光合成	伊福 健太郎 桶川 友季 植野 嘉文
1pB-01-1pB-09	一次代謝	櫻井 望 中村 友輝 鹿内 勇佑

1pC-01-1pC-12	植物生物間相互作用A	多田 安臣 熊倉 直祐 三俣 好令
1pD-01-1pD-10	ゲノム機能・遺伝子発現制御	川勝 泰二 圓山 恭之進 栗原 志夫
1pE-01-1pE-12	発生・形態形成	池内 桃子 安居 佑季子 水谷 未耶
1pF-01-1pF-04	新技術開発, バイオリソース	庄司 翼
1pG-01-1pG-07	環境応答A/生理反応	吉川 伸哉 高橋 宏二
1pH-01-1pH-12	環境応答B/環境ストレス	戸高 大輔 稲葉 丈人 伊藤 秀臣

2日目 3月14日(土) 午前

2aA-01-2aA-12	光合成	愛知 真木子 松田 祐介 野口 航
2aB-01-2aB-11	細胞壁	家門 絵理 栗原(大窪)恵美子 小竹 敬久
2aC-01-2aC-12	植物生物間相互作用A	別役 重之 安田 盛貴 門田 康弘
2aD-01-2aD-11	オルガネラ/細胞骨格/細胞内膜系	藤井 祥 祢宜 淳太郎 山崎 朋人
2aE-01-2aE-12	発生・形態形成	杉山 宗隆 郷 達明 酒井 友希

2aF-01-2aF-12 生殖 横山 隆亮
井川 智子
大和 勝幸

2aG-01-2aG-06 環境応答 A/生理反応 中道 範人
瀬上 紹嗣

2aH-01-2aH-12 環境応答 B/環境ストレス 篠澤 章久
木下 俊則
相馬 史幸

2日目 3月14日(土) 午後

2pA-01-2pA-06 光合成 西山 佳孝
日原 由香子

2pB-01-2pB-04 細胞壁 岡田 健太郎

2pC-01-2pC-06 植物生物間相互作用 B 山崎 明広
亀岡 啓

2pD-01-2pD-06 オルガネラ/細胞骨格/細胞内膜系
松尾 充啓
平山 隆志
真野 昌二

2pE-01-2pE-06 発生・形態形成 加藤 大貴
池田 陽子

2pF-01-2pF-06 生殖 久永 哲也
木全 祐資

2pG-01-2pG-06 植物ホルモン/シグナル伝達物質
安喜 史織
池松 朱夏
古水 千尋

2pH-01-2pH-06 環境応答 B/環境ストレス 嶋村 大亮
山本 義治

3日目 3月15日(日) 午前

3aA-01-3aA-08 システム生物学 青木 考
小林 裕樹
大林 武

3aB-01-3aB-07 生体膜・イオン・物質輸送 且原 真木
小西 範幸

3aC-01-3aC-08 植物生物間相互作用 B 高木 桃子
上中 弘典
西田 帆那

3aD-01-3aD-08 オルガネラ/細胞骨格/細胞内膜系
稲田 のりこ
檜垣 匠
杉山 友希

3aE-01-3aE-08 発生・形態形成 松永 幸大
古谷 朋之
信澤 岳

3aF-01-3aF-08 光受容体/光応答 安藤 英伍
山内 翔太
比嘉 毅

3aG-01-3aG-08 植物ホルモン/シグナル伝達物質
田中 慧太
小塚 俊明
岡本 昌憲

3aH-01-3aH-08 環境応答 B/環境ストレス 飯村 秀明
鈴木 孝征

3日目 3月15日(日) 午後

3pA-01-3pA-02 システム生物学 福島 敦史

3pB-01-3pB-07 生体膜・イオン・物質輸送 丸山 明子
吉成 晃

3pD-01-3pD-08 オルガネラ/細胞骨格/細胞内膜系
永原 史織
山野 隆志
田村 謙太郎

3pG-01-3pG-06 植物ホルモン/シグナル伝達物質
四井 いずみ
深澤 壽太郎

3pH-01-3pH-02 環境応答 B/環境ストレス 城所 聡